

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	研究科の設置							
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン ウツノミヤダイガク 国立大学法人 宇都宮大学							
フリガナ大学の名称	ウツノミヤダイガクダイガクイン 宇都宮大学大学院 (Graduate Schools, Utsunomiya University)							
大学本部の位置	栃木県宇都宮市峰町350							
大学の目的	宇都宮大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。							
新設学部等の目的	<p>持続可能な豊かな地域社会を創生するために、社会デザインとイノベーションに関する高度な専門知識・技術を身に付けて、学際的な幅広い思考力と実践力を備えて主体的に行動できる高度専門職業人を育成する。</p> <p>そのために、3C精神（主体的に挑戦しChallenge, 自らを変えChange, 社会に貢献するContribution）+1（Creation：創造的思考力・実践力）を基本的考えとして、社会デザインとイノベーションに関する高度な専門的知識・技術、学際的な思考力と実践力及び分野間の連携等を実践するために必要な根源的視野、俯瞰的視野、コミュニケーション能力、行動力等を養成する。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	地域創生科学研究科 [Graduate School of Regional Development and Creativity]							
	社会デザイン科学専攻 [Division of Social Design]	2	77	—	154	修士（学術） 修士（農学） 修士（工学） 修士（国際学）	平成31年4月 第1年次	栃木県宇都宮市峰町350 栃木県宇都宮市陽東7-1-2
工農総合科学専攻 [Division of Engineering & Agriculture]	2	258	—	516	修士（光工学） 修士（分子農学） 修士（工学） 修士（農学）	平成31年4月 第1年次	栃木県宇都宮市峰町350 栃木県宇都宮市陽東7-1-2	【基礎となる学部】 工学部、農学部（生物資源科学科、応用生命化学科、農業環境工学科、森林科学科） 14条特例の実施
	計		335	—	670			

同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の 変更等)	○学生募集の停止 <u>国際学研究科(博士前期課程)(廃止)</u> <u>国際社会研究専攻(△10)</u> <u>国際文化研究専攻(△10)</u> <u>国際交流研究専攻(△10)</u> <u>教育学研究科(修士課程)(廃止)</u> <u>学校教育専攻(△25)</u> <u>工学研究科(博士前期課程)(廃止)</u> <u>機械知能工学専攻(△37)</u> <u>電気電子システム工学専攻(△37)</u> <u>物質環境化学専攻(△42)</u> <u>地球環境デザイン学専攻(△33)</u> <u>情報システム科学専攻(△38)</u> <u>先端光工学専攻(△25)</u> <u>農学研究科(修士課程)(廃止)</u> <u>生物生産科学専攻(△41)</u> <u>農業環境工学専攻(△12)</u> <u>農業経済学専攻(△8)</u> <u>森林科学専攻(△10)</u> ※平成31年4月学生募集停止
	○当該申請等以外の申請等 <u>教育学研究科(専門職学位課程)</u> <u>教育実践高度化専攻〔定員増〕(3)(平成30年4月事前伺い書類提出予定)</u> 工学部 基盤工学科 (315)(平成30年4月事前伺い書類提出予定) 工学部 機械システム工学科 (△79) 電気電子工学科 (△79) 応用化学科 (△83) 情報工学科 (△74) ※平成31年4月学生募集停止

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
		講義	演習	実験・実習	計	
	地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻 工農総合科学専攻	211 科目 166 科目	68 科目 17 科目	20 科目 12 科目	299 科目 195 科目	30 単位 30 単位

教員	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等
		教授	准教授	講師	助教	計	助手	
新設	地域創生科学研究科	人	人	人	人	人	人	人
	社会デザイン科学専攻	49 (49)	58 (58)	6 (6)	9 (9)	122 (122)	0 (0)	47 (47)
	工農総合科学専攻	60 (60)	62 (62)	6 (6)	28 (28)	156 (156)	0 (0)	67 (67)
	計	109 (109)	120 (120)	12 (12)	37 (37)	278 (278)	0 (0)	- -
組織	国際学研究科(博士後期課程)							
	国際学研究専攻	15 (15)	16 (16)	1 (1)	0 (0)	32 (32)	0 (0)	2 (2)
	教育学研究科(専門職学位課程)							
	教育実践高度化専攻	16 (16)	15 (15)	2 (2)	0 (4)	33 (37)	0 (0)	9 (9)
	工学研究科(博士後期課程)							
	システム創成工学専攻	48 (48)	47 (47)	1 (1)	0 (0)	96 (96)	0 (0)	4 (4)
	地域連携教育研究センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	雑草と里山の科学教育研究センター	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)
	総合メディア基盤センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
留学生・国際交流センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	7 (7)	
地域共生研究開発センター	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	9 (9)	
バイオサイエンス教育研究センター	1 (1)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	

概要	保健管理センター	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	6 (6)
	キャリア教育・就職支援センター	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	基盤教育センター	0 (0)	3 (3)	0 (0)	7 (7)	10 (10)	0 (0)	70 (70)
	オプティクス教育研究センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	教職センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	計	88 (88)	91 (91)	5 (5)	11 (15)	195 (199)	0 (0)	- (-)
合計		197 (197)	211 (211)	17 (17)	48 (52)	473 (477)	0 (0)	- (-)
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計	
	事 務 職 員		146 (146)		142 (142)		288 (288)	
	技 術 職 員		56 (56)		35 (35)		91 (91)	
	図 書 館 専 門 職 員		3 (3)		10 (10)		13 (13)	
	そ の 他 の 職 員		3 (3)		22 (22)		25 (25)	
	計		208 (208)		209 (209)		417 (417)	
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地	217,267 m ²	0 m ²	0 m ²		217,267 m ²		
	運 動 場 用 地	125,768 m ²	0 m ²	0 m ²		125,768 m ²		
	小 計	343,035 m ²	0 m ²	0 m ²		343,035 m ²		
	そ の 他	8,575,430 m ²	0 m ²	0 m ²		8,575,430 m ²		
	合 計	8,918,465 m ²	0 m ²	0 m ²		8,918,465 m ²		
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計		
		111,846 m ² (111,846 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)		111,846 m ² (111,846 m ²)		
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	77	75	296	15 (補助職員6人)	7 (補助職員8人)			
専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		地域創生科学研究科			280 室			
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	地域創生科学研究科	655,012 [148,385] (649,694 [148,385])	13,600 [3,866] (12,024 [3,542])	5,449 [5,449] (5,449 [5,449])	4,694 [4,694]	16,196 (16,196)	0 (0)	
	計	655,012 [148,385] (649,694 [148,385])	13,600 [3,866] (12,024 [3,542])	5,449 [5,449] (5,449 [5,449])	4,694 [4,694]	16,196 (16,196)	0 (0)	
図書館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
		8,040 m ²	760		633,333			
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		3,366 m ²	武道館 (870 m ²)		陸上競技場 1面			
			野球場 2面		サッカー・ラグビー場 1面			
			テニスコート 9面		プール (25m用)			

経費の 見及び 維持 方法 の概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費（運営費交 付金）による	
		経費の見積り	教員1人当り研究費等	—	—	—	—	—		—
		共同研究費等	—	—	—	—	—	—		
		図書購入費	—	—	—	—	—	—		
		設備購入費	—	—	—	—	—	—		
学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		—								
既設 大学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	宇都宮大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開設 年度	所 在 地	
		年	人	年次	人		倍			
	大学院									
	国際学研究所（博士前期課程）					修士（国際学）		平11	栃木県宇都宮市峰町	
	国際社会研究専攻	2	10	—	20		0.55		350	
	国際文化研究専攻	2	10	—	20		0.65			
	国際交流研究専攻	2	10	—	20		1.45			
	小 計	—	30	—	60		0.88			
	国際学研究所（博士後期課程）					博士（国際学）		平19	栃木県宇都宮市峰町	
	国際学研究専攻	3	3	—	9		1.11		350	
	小 計	—	3	—	9		1.11			
	教育学研究科（修士課程）					修士（教育学）		昭59	栃木県宇都宮市峰町	
	学校教育専攻	2	25	—	50		0.56		350	
	小 計	—	25	—	50		0.56			
	教育学研究科（専門職学位課程）					教職修士（専門職）		平27	栃木県宇都宮市峰町	
	教育実践高度化専攻	2	15	—	30		1.10		350	
	小 計	—	15	—	30		1.10			
	工学研究科（博士前期課程）					修士（工学）		昭48	栃木県宇都宮市陽東	
	機械知能工学専攻	2	37	—	74		1.53		7-1-2	
	電気電子システム工学専攻	2	37	—	74		1.14			
	物質環境化学専攻	2	42	—	84		1.08			
	地球環境デザイン学専攻	2	33	—	66		0.97			
	情報システム科学専攻	2	38	—	76		1.09			
	先端光工学専攻	2	25	—	50		1.46			
	小 計	—	212	—	424		1.21			
	工学研究科（博士後期課程）					博士（工学）		平4	栃木県宇都宮市陽東	
	システム創成工学専攻	3	30	—	90		0.59		7-1-2	
小 計	—	30	—	90		0.59				
農学研究科（修士課程）					修士（農学）		昭41	栃木県宇都宮市峰町		
生物生産科学専攻	2	41	—	82		1.08		350		
農業環境工学専攻	2	12	—	24		0.71				
農業経済学専攻	2	8	—	16		0.19				
森林科学専攻	2	10	—	20		0.70				
小 計	—	71	—	142		0.70				
合 計		371	—	775		0.89				
学部										
地域デザイン科学部			3年次				平28	栃木県宇都宮市陽東		
コミュニティデザイン学科	4	50	—	150	学士（コミュニティ学）	1.07		7-1-2		
建築都市デザイン学科	4	50	3	153	学士（工学）	1.05				
社会基盤デザイン学科	4	40	3	123	学士（工学）	1.07				
小 計	—	140	6	426		1.06				
国際学部			3年次		学士（国際学）		平6	栃木県宇都宮市峰町		
国際学科	4	90	10	180		1.10		350		
国際社会学科		—	—	—		—		平成29年より学生募集開始		
国際文化学科		—	—	—		—		平成29年より学生募集停止		
小 計	—	90	10	180		1.10		平成29年より学生募集停止		
教育学部					学士（教育学）		昭24	栃木県宇都宮市峰町		
学校教育教員養成課程	4	170	—	660		1.02		350		
総合人間形成課程		—	—	—		—		平成28年度入学定員増（20人）		
小 計	—	170	—	660		1.02		平成28年より学生募集停止		

工学部					学士（工学）	昭39	栃木県宇都宮市陽東		
機械システム工学科	4	79	3年次 26	316	1.03		7-1-2		
電気電子工学科	4	79		316	1.03				
応用化学科	4	83		332	1.01				
建設学科		-		-	-				平成28年より学生募集停止
情報工学科 （学科共通）	4	74		296	1.06				平成30年度編入学定員減（△4人）
小計	-	315	26	1,316	1.03				
農学部					学士（農学）	昭24	栃木県宇都宮市峰町		
生物資源科学科	4	63	3年次 18	259	1.02		350	平成28年度入学定員減（△7人）	
応用生命科学科	4	32		131	1.06			平成28年度入学定員減（△3人）	
農業環境工学科	4	32		131	1.09			平成28年度入学定員減（△3人）	
農業経済学科	4	36		148	1.09			平成28年度入学定員減（△4人）	
森林科学科 （学科共通）	4	32		131	1.06			平成28年度入学定員減（△3人）	
小計	-	195	18	838	1.06			平成30年度編入学定員減（△2人）	
合計		910	60	3,420	1.04				
<p>(附属学校)</p> <p>名称：教育学部附属小学校 目的：先導的・先進的な研究校としての役割と教員養成の使命の上に、子供たちに最良の教育を行うことを目的として、日々の教育研究及び実践を行っている。 所在地：栃木県宇都宮市松原1-7-38 設置年月：昭和41年4月 規模等：土地 48,980㎡（附属幼稚園及び附属中学校と共有），建物 5,904㎡</p> <p>名称：教育学部附属中学校 目的：生徒たちが自己の能力と個性を十分に伸ばし、充実した学校生活を送れるよう、教育方法を工夫し実践している。 所在地：栃木県宇都宮市松原1-7-38 設置年月：昭和41年4月 規模等：土地 48,980㎡（附属幼稚園及び附属小学校と共有），建物 5,550㎡</p> <p>名称：教育学部附属幼稚園 目的：幼児教育の実証的研究を進めるとともに、遊びや生活を通して幼児の心身の活動力を高めるよう努めている。 所在地：栃木県宇都宮市松原1-7-38 設置年月：昭和41年4月 規模等：土地 48,980㎡（附属小学校及び附属中学校と共有），建物 932㎡</p> <p>名称：教育学部附属特別支援学校 目的：特別支援教育の実践研究を進めるとともに、宇都宮大学教育学部及び大学院教育学研究科の研究・研修に協力する。 所在地：栃木県宇都宮市宝木町1-2592 設置年月：昭和50年4月 規模等：土地 17,883㎡，建物 3,944㎡</p> <p>(学部等の附属施設)</p> <p>名称：地域デザイン科学部附属地域デザインセンター 目的：地域の課題を理解し、まちづくりを支える人材育成の支援、地域の課題解決に必要なシンクタンク機能の強化、地域連携プロジェクトの推進などに取り組む。 所在地：栃木県宇都宮市陽東7-1-2 設置年月：平成28年4月 規模等：建物 陽東11号館1,909㎡の一部(47㎡)</p> <p>名称：国際学部附属多文化公共圏センター 目的：栃木県内外の自治体・国際交流協会・教育委員会・市民団体（NGO/NPOを含む協賛団体）や海外の交流協定締結大学とネットワークを形成し、情報を交換し合い、グローバル化に関わる諸問題の実践的解決を目指す。</p>									

附属施設の概要

所在地：栃木県宇都宮市峰町350
設置年月：平成20年4月
規模等：建物 峰町5号館B棟1,903㎡の一部(101㎡)

名称：工学部附属ものづくり創成工学センター
目的：未来を担う技術者の創造性と独創性を育み、ものづくり感性を涵養することを目的とした授業の実践を中心とし、インターンシップ及び学生によるプロジェクト活動の推進、現役技術者による講義、高度技術者による技能実演など多面的な教育プログラムの研究開発を行う。

所在地：栃木県宇都宮市陽東7-1-2
設置年月：平成14年4月
規模等：建物 208㎡

名称：農学部附属農場
目的：農業に関する実習教育を行うとともに、学術研究の発展に資する。

所在地：栃木県真岡市下籠谷443
設置年月：昭和24年5月
規模等：土地 1,016,165㎡、建物5,273㎡

名称：農学部附属演習林
目的：船生演習林と日光演習林があり、森林科学の基礎的・応用的な研究を行うとともに、実験実習を通じて森林科学の総合的体系の理解を深める。

所在地：(船生演習林) 栃木県塩谷郡塩谷町船生7556
(日光演習林) 日光：栃木県日光市中宮祠3168
太郎山：栃木県日光市大字日光戦場ヶ原2492-2

設置年月：昭和24年5月
規模等：(船生演習林) 土地 5,313,094㎡、建物 1,617㎡
(日光演習林) 日光：土地 78,251㎡、建物 129㎡
太郎山：土地 2,005,735㎡

(附属図書館)
名称：附属図書館
目的：学生・教職員が教育・研究目標を達成するために必要とする多様な利用サービス・情報資源を提供する。また、一般市民に対しても利用サービスを拡充し、地域社会に貢献する。

所在地：(本館) 栃木県宇都宮市峰町350
(分館) 栃木県宇都宮市陽東7-1-2
設置年月：(本館) 昭和30年4月
(分館) 昭和39年4月
規模等：建物(本館) 6,728㎡
(分館) 1,312㎡

(学内共同教育研究施設)
名称：地域連携教育研究センター
目的：地域社会の自治体や民間団体との協働によって、大学と地域社会との連携及び生涯学習の推進に寄与する。

所在地：栃木県宇都宮市峰町350
設置年月：平成3年4月
規模等：建物 峰町5号館C棟 3,249㎡の一部(446㎡)

名称：雑草と里山の科学教育研究センター
目的：雑草及び里山に関する包括的な教育研究を分野横断的な連携によって推進するとともに、地域の持続的な発展に資することを目的とする。

所在地：栃木県宇都宮市峰町350
設置年月：平成26年4月
規模等：建物 2,091㎡

名称：総合メディア基盤センター
目的：基幹情報ネットワークシステムの設計、構築、運用管理を行い、本学の教育研究のために供するとともに、情報リテラシー教育、情報処理、情報通信技術の研究開発を行い、教育研究の推進及び社会への貢献に資する。

峰地区

所在地：栃木県宇都宮市峰町350

設置年月：平成13年4月

規模等：建物 453㎡

陽東地区

所在地：栃木県宇都宮市陽東7-1-2

設置年月：平成13年4月

規模等：建物 404㎡

名称：留学生・国際交流センター

目的：外国人留学生及び海外留学を希望する学生に対し、必要な教育及び指導・助言等を行うとともに、その充実及び国際交流の推進に寄与することを目的とする。

峰地区

所在地：栃木県宇都宮市峰町350

設置年月：平成14年4月

規模等：建物 峰町5号館C棟3,249㎡の一部(392㎡)

陽東地区

所在地：栃木県宇都宮市陽東7-1-2

設置年月：平成14年4月

規模等：建物 陽東2号館3,056㎡の一部(59㎡)

名称：地域共生研究開発センター

目的：独創的な研究開発の促進、先端計測分析技術等による教育研究支援、民間等との共同研究の推進及び知的財産の創出等を行い、宇都宮大学の研究成果を社会に還元し、産学官連携を積極的に推進することを目的とする。

所在地：栃木県宇都宮市陽東7-1-2

設置年月：平成17年4月

規模等：建物 5,028㎡

名称：バイオサイエンス教育研究センター

目的：バイオサイエンス分野の教育研究を行うとともに、研究の応用と実用化を目指して新たな領域を開拓し、地域においてバイオサイエンス及びテクノロジーの啓発活動を行い、また、関連分野の教員の共同利用に供することを目的とする。

所在地：栃木県宇都宮市峰町350

設置年月：平成20年3月

規模等：建物 3,205㎡

名称：キャリア教育・就職支援センター

目的：キャリア教育と就職ガイダンスなどの就職支援のための様々なプログラムの一体的な推進を図り、学生が自らの将来の生き方や職業との関わりについて考え、キャリアプランを作成し就職活動を進めることを支援する。

所在地：栃木県宇都宮市峰町350

設置年月：平成19年1月

規模等：建物 峰町4号館A棟3,485㎡の一部(401㎡)

名称：基盤教育センター

目的：現代社会に必要なリテラシー、幅広い教養と豊かな人間性、専門教育を学ぶ上で基礎となる素養を身に付けるための基盤教育について、全学的実施の企画・運営を中心に担い、その充実に資する。

所在地：栃木県宇都宮市峰町350

設置年月：平成23年4月

規模等：建物 峰町4号館A棟3,485㎡の一部(399㎡)

名称：オブティクス教育研究センター

目的：光技術産業の強化及び発展に貢献するため、産業界と連携して、体系的教育の徹底と人材の育成を行い、かつ先端的な研究領域を創成することで、世界水準の教育研究拠点の形成を目指す。

所在地：栃木県宇都宮市陽東7-1-2

設置年月：平成19年4月

	<p>規模等：建物 1,944㎡</p> <p>名称：教職センター</p> <p>目的：教職課程の改善，充実及び教員養成機能の強化並びに充実を図るとともに，学内外の教育関連機関等と連携・協働し，教員養成及び現職教員研修の質の向上を図ることを目的とする。</p> <p>所在地：栃木県宇都宮市峰町350</p> <p>設置年月：平成26年4月</p> <p>規模等：建物 峰町7号館740㎡の一部（85㎡）</p>	
--	--	--

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の出定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 6 空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要															
（地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手	
	地域創生のための社会デザイン&イノベーション	1前	2			○			1	4				兼4	オムニバス・共同(一部) ※演習
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1			○								兼7	オムニバス・共同(一部)・ 集中 ※演習
	グローバルな視座を養う	1後	1			○			6	4					オムニバス・共同(一部)
	アカデミックコミュニケーション	2通	2				○		5	3				兼8	共同
地域創生リテラシー 学際的思考力	実践経営マネジメント概論	1前		1		○								兼1	※演習
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		○			1						
	観光地理学研究	1後		1			○				1				
	ソーシャルビジネス論	1前		1		○				1					
	防災と国際協力 I	1後		1		○						1			
	環境問題とガバナンス I	1後		1			○			1					※講義
	人間の安全保障と国連 I	1前		1		○				1					
	国際人権保障と平和構築 I	1後		1		○							1		※演習
	東アジアの国際政治と歴史 I	1前		1		○				1					※講義
	ラテンアメリカの経済と社会 I	1後		1			○			1					
	東アフリカの社会開発と文化 I	1前		1			○			1					※講義
	感情コミュニケーションと社会的共生 I	1後		1		○			1						
	グローバル化と国際的な人の移動 I	1前		1		○			1						
	日本語論述表現法 I	1前		1		○			1						※演習
	アメリカ文化研究 I	1後		1		○			1						
	フランス思想・文化研究 I	1後		1		○				1					
	西洋史研究 I	1前		1		○			1						※演習
	東アジア比較文学比較文化研究 I	1前		1		○			1						
	ジェンダーとアイデンティティ I	1前		1		○				1					
	多文化教育研究 I	1後		1		○				1					
	シティズンシップ教育 I	1後		1		○			1						
	日本文化研究 I	1後		1		○			1						
	文化人類学研究 I	1前		1		○			1						※演習
	英語学研究 I	1後		1		○				1					
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育 I	1後		1		○				1					
	西洋近現代哲学研究 I	1前		1		○				1					
Comparative Study of Contemporary Cultures I	1前		1		○				1						
日本語史と日本語研究 I	1後		1		○				1					※演習	
技術日本語	1前		1		○									兼1	
理系科目群	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門	1後		1		○								兼8	オムニバス・集中
	社会現象の数理	1後		1		○				1					
	食品機能科学	1後		1		○								兼3	オムニバス
	メカニカル・エンジニアリング	1後		1		○								兼6	オムニバス
	情報電気電子システム工学概論	1前		1		○								兼5	オムニバス・集中
	博物学史	1前		1		○								兼2	オムニバス
文系のためのデータサイエンス	1後		1		○				1						
実践力	実践インターンシップ	1・2 前・後		2				○						兼3	共同
	実践フィールドワーク	1・2 前・後		2				○	1						
	創成工学プロジェクト演習	1前		2			○							兼3	オムニバス・共同
	International Political Economy	1前		2		○								兼1	集中
	Global Management	1前		2		○				1					集中
	Globalization and Society	1後		2		○			1						集中 ※演習
	国際インターンシップ	1・2 前・後		2				○						兼1	
	臨地研究	1・2 前・後		2				○	2						共同
小計（48科目）			6	52	0			—	24	24	1	2	0	兼38	

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)																		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す	1・2前		1				○		3	1					オムニバス・共同・集中		
	地域デザイン工学プロジェクト	1・2前		1				○		1	4					共同		
	地域デザイン工学インターンシップ	1・2前・後		1				○			2					共同		
	Communication Skills for Engineers	1前		1			○				1							
	グローバル・エアスタディーズ総合講義	1前		1			○			3	1					オムニバス		
	共生社会論	1前		2			○			1						オムニバス		
	地域人間発達支援の実際と課題	1前		1			○			4	3					オムニバス		
	小計（7科目）		—	0	8	0			—	12	10	0	0	0				
コミュニティデザイン学プログラム	基盤科目	政策形成と協働	1後		1			○		1							※講義	
		コミュニティ政策論	1前		1			○			1						※演習	
		住環境・まちづくり論	1前		1			○			1						※演習	
		自然共生デザイン論	1前		1			○			1							
		福祉経営論	1前		1			○				1					※演習	
	社会システムデザイン科目	政策分析とガバナンス	1後		1			○				1						※演習
		まちをつくる経済評価の技法	1後		1			○				1						※演習
		経済政策論	1後		1			○			1							※演習
		福祉社会話分析	2前		1			○				1						※演習
		地域スポーツ行政論	2後		1			○			1							※演習
		地域社会教育論	1後		1			○				1						※演習
	地域資源マネジメント科目	地域住民の意識・行動の調査法	1後		1				○			1						
		生活文化デザイン論	1前		1				○		1							※講義
		地域活動の心理学	2前		1				○			1						※演習
		デザインと地域	2前		1				○		1							※講義
合奏による参加型デザイン		1後		1				○			1						※講義	
コミュニティデザイン学特別演習	コミュニティデザイン学特別演習	1～2通		4				○		16	14	2						
	コミュニティデザイン学特別研究	1～2通		6				○		16	14	2						
	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1～2通		6				○		9	8	2						
	小計（22科目）		—	0	35	0			—	16	14	2	0	0				
農業・農村経済学プログラム	基盤科目	農業・農村経済学	1前		1			○		1	1						オムニバス	
		農政学	1前		1			○			1							
		農業生産組織論	1前		1			○			1							
		農業・農村史	1後		1			○			1			1				
		農村社会学	1後		1			○										
		アグリビジネス論	2前		1			○			1							
	応用科目	農村地理学	1前		1				○			1						
		マーケティング論	1前		1				○									兼1
		ソーシャルビジネス論	1前		1				○			1						
		統計分析論	1後		1				○			1						
農業・農村経済学特別演習	環境経済学	2前		1				○			1							
	フードシステム学	1後		1				○			1							
	農業・農村経済学特別演習	1～2通		4				○		7	7	3						
農業・農村経済学特別研究	農業・農村経済学特別研究	1～2通		6				○		7	7	3						
	農業・農村経済学実践プロジェクト	1～2通		6				○		4	5	1						
	小計（15科目）		—	0	28	0			—	7	7	3	0	0			兼1	
建築学プログラム	プログラム専門科目	建築構造学特論A	1前		1			○		1								
		建築構造学特論B	1前		1			○			1							
		建築耐震設計特論A	1前		1			○				1						
		建築耐震設計特論B	1前		1			○				1						
		建築構造解析特論A	1後		1			○				1						
		建築構造解析特論B	1後		1			○				1						
		建築構造材料特論A	1・2後		1			○			1							
		建築構造材料特論B	1・2後		1			○			1							
		木造建築特論A	1・2後		1			○			1							
		木造建築特論B	1・2後		1			○			1							
		既存建築物分析学特論A	1・2前		1			○				1						
		既存建築物分析学特論B	1・2前		1			○				1						
		エコロジカル建築特論A	1・2後		1			○			1							
		エコロジカル建築特論B	1・2後		1			○			1							
		環境設備特論A	1・2前		1			○				1						
		環境設備特論B	1・2前		1			○				1						
		建築設計特論A	1・2前		1			○					1					
		建築設計特論B	1・2前		1			○					1					
建築計画特論A	1・2前		1			○					1							

教 育 課 程 等 の 概 要															
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	建築計画特論B	1・2前		1		○				1					
	都市解析特論A	1・2前		1		○				1					
	都市解析特論B	1・2前		1		○				1					
	建築インターンシップ I	1・2前・後		2				○		2					共同
	建築インターンシップ II	1・2前・後		2				○		2					共同
	建築インターンシップ III	1・2前・後		3				○		2					共同
	建築インターンシップ IV	1・2前・後		2				○		2					共同
	建築インターンシップ V	1・2前・後		2				○		2					共同
	建築インターンシップ VI	1・2前・後		2				○		2					共同
	建築設計演習 I	1・2前・後		2				○		3		1			共同
	建築設計演習 II	1・2前・後		2				○		3		1			共同
	建築学特別演習 I	1通		2						8	9		3		
	建築学特別演習 II	2通		2				○		8	9		3		
	建築学特別研究	1~2通		6					○	8	9		3		
	建築学特別設計	1~2通		6					○	3		1			
小計 (34科目)			—	0	54	0	—	—	8	9	0	3	0		
土木工学 プログラム	橋梁工学特論	1後		1		○				1					
	耐震工学特論	1後		1		○				1					
	岩盤力学特論	1前		1		○				1					
	地盤力学特論	1前		1		○				1					
	土木材料学特論	1後		1		○			1						
	エコマテリアル工学特論	1後		1		○				1					
	河川工学特論	1前		1		○			1						
	海岸工学特論	1後		1		○						1			
	水圏環境工学特論	1前		1		○			1						
	地圏環境工学特論	1後		1		○					2				共同
	都市計画特論	1前		1		○			1						
	都市交通特論	2前		1		○			1						
	防災マネジメント特論	1前		1		○				1					
	海外プロジェクト特論	1前		1		○			1						
	土木工学特別演習	1~2通		4			○		10	11			4		
土木工学特別研究	1~2通		6				○	10	11			4			
小計 (16科目)			—	0	24	0	—	—	10	11	0	4	0		
農業土木学 プログラム	環境数理A	1前		1		○				1					
	環境数理B	1前		1		○			1						
	土壌環境物理学A	1前		1		○				1					
	土壌環境物理学B	1前		1		○				1					
	農地保全学	1後		1		○				1					
	農業水利学	1後		1		○			1						
	応用田園生態工学A	1後		1		○				1					
	応用田園生態工学B	1後		1		○				1					
	地域マネジメントA	1前		1		○				1					
	地域マネジメントB	1前		1		○				1					
	農業農村開発と技術協力	1前		1		○				1					
	農業土木学特別演習	1~2通		4			○		4	10			3		
	農業土木学特別研究	1~2通		6				○	4	10			3		
	小計 (13科目)			—	0	21	0	—	—	4	10	0	3	0	
	グローバル・エリ アスタディーズ プログラム	基盤科目													
グローバル・エリ アスタディーズ プログラム															
貧困問題と国際協力 I		1前		1		○			1						※演習
防災と国際協力 I		1後		1		○						1			※講義
環境問題とガバナンス I		1後		1			○			1					
情報ネットワークと技術 I		1後		1		○			1						
人間の安全保障と国連 I		1前		1		○				1					
国際人権保障と平和構築 I		1後		1		○						1			※演習
Globalization and Project Management I		1後		1		○				1					
グローバル教育と開発教育 I		1後		1		○			1						※演習
国際NPO起業とその実践 I		1前		1		○			1						兼2 オムニバス ※演習
貧困問題と国際協力 II		1前		1		○			1						※演習
防災と国際協力 II		1後		1		○						1			※講義
環境問題とガバナンス II		1後		1			○		1	1					
情報ネットワークと技術 II		1後		1		○				1					
人間の安全保障と国連 II	1前		1		○				1						
国際人権保障と平和構築 II	1後		1		○						1			※演習	
Globalization and Project Management II	1後		1		○				1						
グローバル教育と開発教育 II	1後		1		○			1						※演習	
国際NPO起業とその実践 II	1前		1		○			1						兼1 オムニバス・共同(一部) ※演習	

教 育 課 程 等 の 概 要																	
（地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻）																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
エリア スタ ディ ーズ 科 目	タイの開発と地域社会 I	1後		1			○		1								
	タイの開発と地域社会 II	1後		1			○		1								
	東アジアの国際政治と歴史 I	1前		1			○			1						※講義	
	東アジアの国際政治と歴史 II	1前		1			○			1						※講義	
	東アジアの歴史と文化 I	1前		1			○		1							※演習	
	東アジアの歴史と文化 II	1前		1			○		1							※講義	
	日本の自然と地域生活 I	1前		1			○			1						※講義	
	日本の自然と地域生活 II	1前		1			○			1						※講義	
	アメリカの経済と金融 I	1後		1			○		1								※講義
	アメリカの経済と金融 II	1後		1			○		1								
	ラテンアメリカの経済と社会 I	1後		1				○			1						
	ラテンアメリカの経済と社会 II	1後		1				○			1						
	中東地域の政治と社会 I	1後		1			○			1							
	中東地域の政治と社会 II	1後		1			○			1							
東アフリカの社会開発と文化 I	1前		1				○			1						※講義	
東アフリカの社会開発と文化 II	1前		1				○			1						※講義	
特別臨地研究 I	1・2 前・後		2					○	1	1						共同	
特別臨地研究 II	1・2 前・後		2					○	1	1						共同	
グローバル・エリアスタディーズ特別演習	1～2通		4				○		16	19	2	2					
グローバル・エリアスタディーズ特別研究	1～2通		6				○		16	19	2	2					
グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト	1～2通		6				○		6	8		2					
小計（39科目）		—	0	54	0		—		16	19	2	2	0			兼3	
基盤 科 目 多 文 化 共 生 学 ブ ロ グ ラ ム 専 門 科 目 応 用 科 目	現代英語研究 I	1前		1			○		1								
	感情コミュニケーションと社会的共生 I	1後		1			○		1								
	日本表象文化研究 I	1前		1			○		1								
	グローバル化と国際的な人の移動 I	1前		1			○		1								※演習
	日本語論述表現法 I	1前		1			○		1								
	多文化教育研究 I	1後		1			○			1							
	現代英語研究 II	1後		1			○		1								
	感情コミュニケーションと社会的共生 II	1後		1			○		1								
	日本表象文化研究 II	1前		1			○		1								
	グローバル化と国際的な人の移動 II	1前		1			○		1								
	日本語論述表現法 II	1前		1				○		1							※講義
	多文化教育研究 II	1後		1				○			1						
	国際交流と日本語教育 I	1前		1				○		1							※演習
	国際交流と日本語教育 II	1前		1				○		1							※講義
	アメリカ文化研究 I	1後		1				○		1							
	アメリカ文化研究 II	1後		1				○		1							
	イギリス文化研究 I	2前		1				○			1						
	イギリス文化研究 II	2前		1				○			1						
	フランス思想・文化研究 I	1後		1				○			1						
	フランス思想・文化研究 II	1後		1				○			1						
	西洋史研究 I	1前		1				○		1							※演習
	西洋史研究 II	1前		1				○		1							※講義
	性と人権論 I	1前		1				○			1						
	性と人権論 II	1前		1				○			1						
	東アジア比較文学比較文化研究 I	1前		1				○		1							
	東アジア比較文学比較文化研究 II	1前		1				○		1							
	人権と法 I	1後		1				○			1						
	人権と法 II	1後		1				○			1						
	ジェンダーとアイデンティティ I	1前		1				○			1						
	ジェンダーとアイデンティティ II	1後		1				○			1						
	シティズンシップ教育 I	1後		1				○		1							
	シティズンシップ教育 II	1後		1				○		1							
	日本文学研究 I	1前		1				○		1							
	日本文学研究 II	1前		1				○		1							
日本文化研究 I	1後		1				○		1								
日本文化研究 II	1後		1				○		1								
文化人類学研究 I	1前		1				○		1							※演習	
文化人類学研究 II	1前		1				○		1							※講義	
言語普遍性と英文法研究 I	2前		1				○		1								
言語普遍性と英文法研究 II	2前		1				○		1								
英語音声学 I	1後		1				○		1								
英語音声学 II	1後		1				○		1								

教 育 課 程 等 の 概 要																
（地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手		
	英語学研究Ⅰ	1後		1		○				1						
	英語学研究Ⅱ	1後		1		○				1						
	植民地教育史Ⅰ	1後		1		○				1						
	植民地教育史Ⅱ	1後		1		○				1						
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1後		1		○				1						
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1後		1		○				1						
	芸術学研究Ⅰ	1後		1		○				1						
	芸術学研究Ⅱ	1後		1		○				1						
	音楽創作文化研究Ⅰ	1後		1			○			1					※講義	
	音楽創作文化研究Ⅱ	1後		1			○			1					※講義	
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1前		1		○				1						
	西洋近現代哲学研究Ⅱ	1前		1		○				1						
	日本史研究Ⅰ	1後		1		○				1					※演習	
	日本史研究Ⅱ	1後		1		○				1					※演習	
	日本語教育学研究Ⅰ	1前		1		○				1					※演習	
	日本語教育学研究Ⅱ	1前		1		○				1					※演習	
	ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ	2前		1			○			1						
	ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ	2前		1			○			1						
	Comparative Study of Contemporary CulturesⅠ	1前		1		○				1						
	Comparative Study of Contemporary CulturesⅡ	1前		1		○				1						
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1後		1		○				1					※演習	
	日本語史と日本語研究Ⅱ	1後		1			○			1					※講義	
	古代日本語文化研究Ⅰ	1後		1		○					1					
	古代日本語文化研究Ⅱ	1後		1		○					1					
	グローバル時代の学校教育Ⅰ	2前		1		○					1					
	グローバル時代の学校教育Ⅱ	2前		1		○					1					
	多文化共生学特別演習	1～2通		4			○			19	25	3	1			
	多文化共生学特別研究	1～2通		6			○			19	25	3	1			
	多文化共生学実践プロジェクト	1～2通		6			○			14	16	2				
	小計（71科目）	—		0	84	0	—	—	—	19	25	3	1	0		
地域人間発達支援学プログラム	基盤科目	人間発達支援方法論	1前		2		○				1					
		社会的思考支援論	1後		2		○				1					
		生涯発達支援論	1前		2		○				1					
		共に生きるかたちの心理学特論	1後		2		○				1					※演習
		ヘルスプロモーション特論	1後		2		○									兼1
		生活環境創造支援論	1前		2		○			3	1					オムニバス
		地域アートマネジメント（美術）	1前		2			○			1					
		地域アートマネジメント（音楽）	1後		2			○				1				
		認知心理的支援論	1後		2		○							1		
	プログラム専門科目	遊びと感情の社会学特論	1・2前		2		○				1					
		地域環境システム論	1・2後		2		○				1					
		衣環境学特論	1・2前		2		○				1					
		生活経営支援論	1・2後		2		○				1					
		消費者教育支援論	1・2後		2		○				1					
		健康管理支援論	1・2後		2		○				1					
		身体科学特論	1・2前		1		○				1					集中
		運動発達特論	1・2前		2		○				1					
		身体運動学演習	1・2後		1			○			1					
		スポーツ指導支援論	1・2後		1		○				1					
応用科目	生涯身体発達支援論	1・2前		2		○									兼1	
	情報コミュニケーション演習	1・2前		2			○				1					
	情報科学技術特論	1・2後		2			○				1					
	科学コミュニケーション演習	1・2後		2			○								兼1	
	造形表現支援演習	1・2後		2		○			1							
	平面表現技法分析論	1・2後		2		○				1						
	地域デザインプロジェクト	1後		2		○				1						
	舞台芸術分析論	1・2後		2		○				1						
	音声デザイン支援論	1・2前		2		○				1						
	サウンド・コラボレーション	1・2前		2		○					1					
外国語コミュニケーション演習	1・2後		2		○									兼1		
論理表現コミュニケーション演習	1・2後		2		○									兼1		
地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4			○			14	18	2					
地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6			○			14	18	2					

教 育 課 程 等 の 概 要														
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	地域人間発達支援学実践プロジェクト	1~2通		6			○		4	2	1			
	小計(34科目)	—	0	75	0		—		15	19	2	1	0	兼5
合計(299科目)		—	6	435	0		—		49	58	6	9	0	兼47
学位又は称号		修士(学術), 修士(農学), 修士(工学), 修士(国際学)			学位又は学科の分野			文学関係, 教育学・保育学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係, 理学関係, 工学関係, 農学関係						
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
修了要件は, 地域創生リテラシー科目から10単位以上, 境界・学際領域科目及びプログラム専門科目 (「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む)から20単位以上の計 30単位以上を修得し, かつ, 修士論文(又は, 修士論文に代わる特定課題等)の審査及び最終試験に合 格した者に学位を授与する。 コミュニティデザイン学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論:実践を問い, 現場に還す(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上, 「社会システムデザイン科目」から2単位以上を必ず修得する こと。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習(4単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究(6単位)又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト(6単位)のいずれかを必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。								1学年の学期区分		2期				
								1学期の授業期間		15週				
								1時限の授業時間		90分				
農業・農村経済学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論:実践を問い, 現場に還す(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上, 「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習(4単位)及び農業・農村経済学特別研究(6単位)又は農業・農村経済学実践プロジェクト(6単位)を必ず修得 すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。								1学年の学期区分 2期 1学期の授業期間 15週 1時限の授業時間 90分						
								建築学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位), 地域デザイン工学インターンシップ(1単位), Communication Skills for Engineers(1単 位), 土木工学プログラムの「プログラム専門科目(土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を除く。)」又は農業土木学プログラムの「プログラム 専門科目(農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ(2単位), 建築学特別演習Ⅱ(2単位)及び建築学特別研究(6単位)又は建築学特別設計(6単位)以上を必ず修得すること。						
								土木工学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位), 地域デザイン工学インターンシップ(1単位), Communication Skills for Engineers(1単 位), 建築学プログラムの「プログラム専門科目(建築学特別演習Ⅰ(2単位), 建築学特別演習Ⅱ(2単位), 建築学特別研究(6単位)及び建築学特別設計(6単位)) を除く。)」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目(農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修 得すること。 ・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。						
農業土木学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位), 地域デザイン工学インターンシップ(1単位), Communication Skills for Engineers(1単 位), 建築学プログラムの「プログラム専門科目(建築学特別演習Ⅰ(2単位), 建築学特別演習Ⅱ(2単位), 建築学特別研究(6単位)及び建築学特別設計(6単位)) を除く。)」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目(土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修得する こと。 ・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。								グローバル・エアスタディーズプログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」のグローバル・エアスタディーズ総合講義(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上, 「エアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エアスタディーズ特別演習(4単位)及びグローバル・エアスタディーズ特別研究(6単位)又はグローバル・エアスタ ディーズ実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エアスタディーズ実践プロジェクト(6単位)を選択する場合は, 「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ(2単位)又は特 別臨地研究Ⅱ(2単位)から2単位以上を必ず修得すること。						
								多文化共生学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の共生社会論(2単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上, 「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習(4単位)及び多文化共生学特別研究(6単位)又は多文化共生学実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。						
								地域人間発達支援学プログラム ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実際と課題(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上, 「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習(4単位)及び地域人間発達支援学特別研究(6単位)又は地域人間発達支援学実践プロジェクト(6単位)を必 ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。						

教 育 課 程 等 の 概 要														
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域創生リテラシー 学際的思考力 文系科目群	地域創生のための社会デザイン&イノベーション	1前	2			○			2					兼2 オムニバス・共同(一部) ※演習
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1			○								兼7 オムニバス・共同(一部)・ 奥中 ※演習
	グローバルな視座を養う	1後	1			○			6	4				オムニバス・共同(一部)
	アカデミックコミュニケーション	2通	2				○		4	1				兼4 共同
	ソーシャルビジネス論	1前		1		○				1				
	防災と国際協力 I	1後		1		○						1		
	環境問題とガバナンス I	1後		1			○			1				※講義
	人間の安全保障と国連 I	1前		1		○				1				
	国際人権保障と平和構築 I	1後		1		○						1		※演習
	東アジアの国際政治と歴史 I	1前		1		○				1				※講義
	ラテンアメリカの経済と社会 I	1後		1			○			1				
	東アフリカの社会開発と文化 I	1前		1			○			1				※講義
	感情コミュニケーションと社会的共生 I	1後		1		○				1				
	グローバル化と国際的な人の移動 I	1前		1		○				1				
	日本語論述表現法 I	1前		1		○				1				※演習
	アメリカ文化研究 I	1後		1		○				1				
	フランス思想・文化研究 I	1後		1		○				1				
	西洋史研究 I	1前		1		○				1				※演習
	東アジア比較文学比較文化研究 I	1前		1		○				1				
	ジェンダーとアイデンティティ I	1前		1		○				1				
	多文化教育研究 I	1後		1		○				1				
	シティズンシップ教育 I	1後		1		○				1				
	日本文化研究 I	1後		1		○				1				
	文化人類学研究 I	1前		1		○				1				※演習
	英語学研究 I	1後		1		○				1				
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育 I	1後		1		○				1				
	西洋近現代哲学研究 I	1前		1		○				1				
	Comparative Study of Contemporary Cultures I	1前		1		○				1				
日本語史と日本語研究 I	1後		1		○				1				※演習	
理系科目群	食品機能科学	1後		1		○								兼3 オムニバス
	博物学史	1前		1		○								兼2 オムニバス
	文系のためのデータサイエンス	1後		1		○			1					
実践力	International Political Economy	1前		2		○								兼1 奥中
	Global Management	1前		2		○				1				奥中
	Globalization and Society	1後		2		○			1					奥中 ※演習
	国際インターンシップ	1・2 前・後		2				○						兼1
	臨地研究	1・2 前・後		2				○	2					共同
小計(37科目)			6	38	0	-			20	20	0	2	0	兼17

教 育 課 程 等 の 概 要																
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に選ず	1・2前		1				○		1	1				オムニバス・共同・集中	
	Communication Skills for Engineers	1前		1			○			1					オムニバス	
	グローバル・エアスタディーズ総合講義	1前		1			○		3	1					オムニバス	
	共生社会論	1前		2			○		1						オムニバス	
	地域人間発達支援の実際と課題	1前		1			○		4	3					オムニバス	
	小計(5科目)	—	0	6	0			—	9	6	0	0	0			
コミュニティデザイン学プログラム	プログラム専門科目	基礎科目 住環境・まちづくり論	1前		1			○		1						※演習
		社会デザイン科目 地域スポーツ行政論	2後		1			○		1						※演習
		地域活動の心理学	2前		1			○		1						※演習
		デザインと地域	2前		1			○		1						※演習
		合奏による参加型デザイン	1後		1			○		1						※講義
		コミュニティデザイン学特別演習	1～2通		4			○		10	8					
		コミュニティデザイン学特別研究	1～2通		6			○		10	8					
コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1～2通		6			○		3	2							
	小計(8科目)	—	0	21	0			—	10	8	0	0	0			
農業・農村経済学プログラム	プログラム専門科目	基礎科目	農業・農村経済学	1前		1		○		1	1					オムニバス
			農政学	1前		1		○		1						
			農業生産組織論	1前		1		○		1						
			農業・農村史	1後		1		○		1			1			
			農村社会学	1後		1		○		1						
			アグリビジネス論	2前		1		○		1						
			農村地理学	1前		1		○		1		1				
	応用科目	マーケティング論	1前		1		○									兼1
		ソーシャルビジネス論	1前		1		○			1						
		統計分析論	1後		1		○			1						
		環境経済学	2前		1		○			1						
	フードシステム学	1後		1		○			1							
	農業・農村経済学特別演習	1～2通		4			○		4	7	1					
	農業・農村経済学特別研究	1～2通		6			○		4	7	1					
	農業・農村経済学実践プロジェクト	1～2通		6			○		4	5	1					
	小計(15科目)	—	0	28	0			—	4	7	1	0	0	兼1		
建築学プログラム	プログラム専門科目	建築学特別演習Ⅰ	1通		2			○		1						
		建築学特別演習Ⅱ	2通		2			○		1						
		建築学特別研究	1～2通		6			○		1						
	小計(3科目)	—	0	10	0			—	1	0	0	0	0			
土木工学プログラム	プログラム専門科目	土木工学特別演習	1～2通		4			○		1	3					
		土木工学特別研究	1～2通		6			○		1	3					
	小計(2科目)	—	0	10	0			—	1	3	0	0	0			
農業土木学プログラム	プログラム専門科目	環境数理A	1前		1		○			1						
		環境数理B	1前		1		○		1							
		土壌環境物理学A	1前		1		○			1						
		土壌環境物理学B	1前		1		○			1						
		農地保全学	1後		1		○			1						
		農業水利学	1後		1		○			1						
		応用田園生態工学A	1後		1		○			1						
応用田園生態工学B	1後		1		○			1								

教 育 課 程 等 の 概 要															
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
	地域マネジメントA	1前		1		○				1					
	地域マネジメントB	1前		1		○				1					
	農業農村開発と技術協力	1前		1		○				1					
	農業土木学特別演習	1～2通		4			○		1	5					
	農業土木学特別研究	1～2通		6				○	1	5					
	小計(13科目)	—	0	21	0	—			1	5	0	0	0		
グローバル・エリ アスタディーズ プログラム	基 盤 科 目	貧困問題と国際協力 I	1前	1		○			1					※演習	
		防災と国際協力 I	1後	1		○					1				
		環境問題とガバナンス I	1後	1			○			1				※講義	
		情報ネットワークと技術 I	1後	1		○			1						
		人間の安全保障と国連 I	1前	1		○				1					
		国際人権保障と平和構築 I	1後	1		○						1		※演習	
		Globalization and Project Management I	1後	1		○				1					
		グローバル教育と開発教育 I	1後	1		○			1					※演習	
		国際NPO起業とその実践 I	1前	1		○			1					兼2 オムニバス ※演習	
	グ ロ ー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ 科 目	貧困問題と国際協力 II	1前	1		○			1					※演習	
		防災と国際協力 II	1後	1		○						1			
		環境問題とガバナンス II	1後	1			○			1				※講義	
		情報ネットワークと技術 II	1後	1		○			1						
		人間の安全保障と国連 II	1前	1		○				1					
		国際人権保障と平和構築 II	1後	1		○						1		※演習	
		Globalization and Project Management II	1後	1		○				1					
		グローバル教育と開発教育 II	1後	1		○			1					※演習	
		国際NPO起業とその実践 II	1前	1		○			1					兼1 オムニバス・共同(一部) ※演習	
	エ リ ア ス タ デ ィ ー ズ 科 目	タイの開発と地域社会 I	1後	1			○		1						
		タイの開発と地域社会 II	1後	1			○		1						
		東アジアの国際政治と歴史 I	1前	1			○			1				※講義	
		東アジアの国際政治と歴史 II	1前	1			○			1				※講義	
		東アジアの歴史と文化 I	1前	1		○			1					※演習	
		東アジアの歴史と文化 II	1前	1			○		1					※講義	
		日本の自然と地域生活 I	1前	1			○			1				※講義	
		日本の自然と地域生活 II	1前	1			○			1				※講義	
		アメリカの経済と金融 I	1後	1			○		1						
		アメリカの経済と金融 II	1後	1			○		1						
		ラテンアメリカの経済と社会 I	1後	1				○			1				
		ラテンアメリカの経済と社会 II	1後	1				○			1				
		中東地域の政治と社会 I	1後	1			○				1				
		中東地域の政治と社会 II	1後	1			○				1				
		東アフリカの社会開発と文化 I	1前	1				○			1			※講義	
		東アフリカの社会開発と文化 II	1前	1				○			1			※講義	
		特別臨地研究 I	1・2 前・後	2					○	1	1				共同
		特別臨地研究 II	1・2 前・後	2					○	1	1				共同
		グローバル・エリ アスタディーズ特別演習	1～2通	4				○		16	18	2	2		
	グローバル・エリ アスタディーズ特別研究	1～2通	6				○		16	18	2	2			
	グローバル・エリ アスタディーズ実践プロジェクト	1～2通	6				○		6	8		2			
小計(39科目)	—	0	54	0	—			16	18	2	2	0	兼3		

教 育 課 程 等 の 概 要															
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
多文化共生学プログラム	基盤科目	現代英語研究 I	1前	1		○			1						
		感情コミュニケーションと社会的共生 I	1後	1		○			1						
		日本表象文化研究 I	1前	1		○			1						
		グローバル化と国際的な人の移動 I	1前	1		○			1						※演習
		日本語論述表現法 I	1前	1		○			1						
		多文化教育研究 I	1後	1		○				1					
	プログラム専門科目 応用科目	現代英語研究 II	1後	1		○			1						
		感情コミュニケーションと社会的共生 II	1後	1		○			1						
		日本表象文化研究 II	1前	1		○			1						
		グローバル化と国際的な人の移動 II	1前	1		○			1						
		日本語論述表現法 II	1前	1			○		1						※講義
		多文化教育研究 II	1後	1		○				1					
		国際交流と日本語教育 I	1前	1		○			1						※演習
		国際交流と日本語教育 II	1前	1			○		1						※講義
		アメリカ文化研究 I	1後	1		○			1						
		アメリカ文化研究 II	1後	1		○			1						
		イギリス文化研究 I	2前	1		○				1					
		イギリス文化研究 II	2前	1		○				1					
		フランス思想・文化研究 I	1後	1		○				1					
		フランス思想・文化研究 II	1後	1		○				1					
		西洋史研究 I	1前	1		○			1						※演習
		西洋史研究 II	1前	1			○		1						※講義
		性と人権論 I	1前	1		○				1					
		性と人権論 II	1前	1		○				1					
		東アジア比較文学比較文化研究 I	1前	1		○			1						
		東アジア比較文学比較文化研究 II	1前	1		○			1						
		人権と法 I	1後	1		○				1					
		人権と法 II	1後	1		○				1					
		ジェンダーとアイデンティティ I	1前	1		○				1					
		ジェンダーとアイデンティティ II	1後	1		○				1					
		シティズンシップ教育 I	1後	1		○			1						
		シティズンシップ教育 II	1後	1		○			1						
		日本文学研究 I	1前	1		○			1						
		日本文学研究 II	1前	1		○			1						
		日本文化研究 I	1後	1		○			1						
		日本文化研究 II	1後	1		○			1						
		文化人類学研究 I	1前	1		○			1						※演習
		文化人類学研究 II	1前	1			○		1						※講義
		言語普遍性と英文法研究 I	2前	1		○			1						
		言語普遍性と英文法研究 II	2前	1		○			1						
		英語音声学 I	1後	1		○			1						
		英語音声学 II	1後	1		○			1						
英語学研究 I	1後	1		○				1							
英語学研究 II	1後	1		○				1							
植民地教育史 I	1後	1		○				1							
植民地教育史 II	1後	1		○				1							
外国にルーツをもつ子ども・青年と教育 I	1後	1		○				1							
外国にルーツをもつ子ども・青年と教育 II	1後	1		○				1							
芸術学研究 I	1後	1		○				1							
芸術学研究 II	1後	1		○				1							
音楽創作文化研究 I	1後	1			○			1					※講義		
音楽創作文化研究 II	1後	1			○			1					※講義		

教 育 課 程 等 の 概 要															
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
応用 科目	西洋近現代哲学研究 I	1前		1		○				1					
	西洋近現代哲学研究 II	1前		1		○				1					
	日本史研究 I	1後		1		○				1				※演習	
	日本史研究 II	1後		1		○				1				※演習	
	日本語教育学研究 I	1前		1		○				1				※演習	
	日本語教育学研究 II	1前		1		○				1				※演習	
	ヨーロッパ表象文化研究 I	2前		1			○			1					
	ヨーロッパ表象文化研究 II	2前		1			○			1					
	Comparative Study of Contemporary Cultures I	1前		1			○			1					
	Comparative Study of Contemporary Cultures II	1前		1			○			1					
	日本語史と日本語研究 I	1後		1			○			1				※演習	
	日本語史と日本語研究 II	1後		1				○		1				※講義	
	古代日本語文化研究 I	1後		1			○				1				
	古代日本語文化研究 II	1後		1			○				1				
	グローバル時代の学校教育 I	2前		1			○				1				
	グローバル時代の学校教育 II	2前		1			○				1				
多文化共生学特別演習	1～2通		4				○		18	24	3	1			
多文化共生学特別研究	1～2通		6				○		18	24	3	1			
多文化共生学実践プロジェクト	1～2通		6				○		14	16	2				
小計 (71科目)	—		0	84	0		—		18	24	3	1	0		
地域人間 発達支援学 プログラム	基盤 科目	人間発達支援方法論	1前		2		○				1				
		社会的思考支援論	1後		2		○				1				
		生涯発達支援論	1前		2		○				1				
		共に生きるかたちの心理学特論	1後		2		○				1			※演習	
		ヘルスプロモーション特論	1後		2		○							兼1	
		生活環境創造支援論	1前		2		○			3	1			オムニバス	
		地域アートマネジメント (美術)	1前		2			○			1				
		地域アートマネジメント (音楽)	1後		2			○				1			
	プログラム 専門科目	認知心理的支援論	1後		2		○						1		
		遊びと感情の社会学特論	1・2前		2		○				1				
		地域環境システム論	1・2後		2		○				1				
		衣環境学特論	1・2前		2		○			1					
		生活経営支援論	1・2後		2		○			1					
		消費者教育支援論	1・2後		2		○			1					
		健康管理支援論	1・2後		2		○			1					
		身体科学特論	1・2前		1		○			1				集中	
		運動発達特論	1・2前		2		○			1					
		身体運動学演習	1・2後		1			○		1					
		応用 科目	スポーツ指導支援論	1・2後		1		○			1				
			生涯身体発達支援論	1・2前		2		○							兼1
情報コミュニケーション演習	1・2前			2			○			1					
情報科学技術特論	1・2後			2			○			1					
科学コミュニケーション演習	1・2後			2			○						兼1		
造形表現支援演習	1・2後			2			○		1						
平面表現技法分析論	1・2後			2			○			1					
地域デザインプロジェクト	1後			2			○		1						
プログラム 専門科目	舞台芸術分析論	1・2後		2			○			1					
	音声デザイン支援論	1・2前		2			○		1						
	サウンド・コラボレーション	1・2前		2			○				1				
	外国語コミュニケーション演習	1・2後		2			○						兼1		
		1・2後		2			○						兼1		

教 育 課 程 等 の 概 要															
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4				○		13	16	2			
	地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6				○		13	16	2			
	地域人間発達支援学実践プロジェクト	1～2通		6				○		4	2	1			
	小計(34科目)	—	0	75	0			—		14	17	2	1	0	兼5
合計(227科目)		—	6	347	0			—		36	44	4	3	0	兼29
学位又は称号	修士(学術), 修士(農学), 修士(工学), 修士(国際学)	学位又は学科の分野			文学関係, 教育学・保育学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係, 理学関係, 工学関係, 農学関係										
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>修了要件は, 地域創生リテラシー科目から10単位以上, 境界・学際領域科目及びプログラム専門科目(「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し, かつ, 修士論文(又は, 修士論文に代わる特定課題等)の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。</p> <p>コミュニティデザイン学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論: 実践を問い, 現場に還す(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上, 「社会システムデザイン科目」から2単位以上, 「地域資源マネジメント科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習(4単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究(6単位)又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト(6単位)のいずれかを必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>農業・農村経済学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論: 実践を問い, 現場に還す(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上, 「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習(4単位)及び農業・農村経済学特別研究(6単位)を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>建築学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位), 地域デザイン工学インターンシップ(1単位), Communication Skills for Engineers(1単位), 土木工学プログラムの「プログラム専門科目(土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を除く。)」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目(農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ(2単位), 建築学特別演習Ⅱ(2単位)及び建築学特別研究(6単位)又は建築学特別設計(6単位)を含み17単位以上を必ず修得すること。 <p>土木工学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位), 地域デザイン工学インターンシップ(1単位), Communication Skills for Engineers(1単位), 建築学プログラムの「プログラム専門科目(建築学特別演習Ⅰ(2単位), 建築学特別演習Ⅱ(2単位), 建築学特別研究(6単位)及び建築学特別設計(6単位)を除く。)」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目(農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>農業土木学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位), 地域デザイン工学インターンシップ(1単位), Communication Skills for Engineers(1単位), 建築学プログラムの「プログラム専門科目(建築学特別演習Ⅰ(2単位), 建築学特別演習Ⅱ(2単位), 建築学特別研究(6単位)及び建築学特別設計(6単位)を除く。)」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目(土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>グローバル・エアスタディーズプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」のグローバル・エアスタディーズ総合講義(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上, 「エアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エアスタディーズ特別演習(4単位)及びグローバル・エアスタディーズ特別研究(6単位)又はグローバル・エアスタディーズ実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エアスタディーズ実践プロジェクト(6単位)を選択する場合は, 「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ(2単位)又は特別臨地研究Ⅱ(2単位)から2単位以上を必ず修得すること。 <p>多文化共生学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の共生社会論(2単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上, 「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習(4単位)及び多文化共生学特別研究(6単位)又は多文化共生学実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>地域人間発達支援学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上, 「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実際と課題(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上, 「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習(4単位)及び地域人間発達支援学特別研究(6単位)又は地域人間発達支援学実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で, 教育上有益と認めるときは, 他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

教 育 課 程 等 の 概 要															
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創生リテラシー	学際的思考力	地域創生のための社会デザイン&イノベーション	1前	2			○			1	2				兼2 オムニバス・共同(一部) ※演習
		アカデミックコミュニケーション	2通	2			○			1	2				兼4 共同
	文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1			○							兼1
		農業・農村の組織マネジメント	1後		1			○		1					※演習
		観光地理学研究	1後		1			○			1				
		技術日本語	1前		1			○							兼1
	理系科目群	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門	1後		1			○							兼8 オムニバス・集中
		社会現象の数理	1後		1			○			1				
		メカニカル・エンジニアリング	1後		1			○							兼6 オムニバス
		情報電気電子システム工学概論	1前		1			○							兼5 オムニバス・集中
	実践力	実践インターンシップ	1・2 前・後		2				○						兼3 共同
		実践フィールドワーク	1・2 前・後		2				○	1					
		創成工学プロジェクト演習	1前		2			○							兼3 オムニバス・共同
小計 (13科目)				4	14	0		—		4	5	1	0	0	兼30
境界・学際領域科目	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す	1・2前		1			○		2					オムニバス・共同・集中	
	地域デザイン工学プロジェクト	1・2前		1				○	1	4				共同	
	地域デザイン工学インターンシップ	1・2前・後		1				○		2				共同	
	小計 (3科目)				0	3	0		—	3	4	0	0	0	
コミュニティデザイン学プログラム	基盤科目	政策形成と協働	1後		1			○		1					※講義
		コミュニティ政策論	1前		1			○			1				※演習
		自然共生デザイン論	1前		1			○		1					
		福祉経営論	1前		1			○			1				※演習
	社会システムデザイン学プログラム	政策分析とガバナンス	1後		1			○			1				※演習
		まちをつくる経済評価の技法	1後		1			○			1				※演習
		経済政策論	1後		1			○		1					※演習
		福祉社会話分析	2前		1			○			1				※演習
		地域社会教育論	1後		1			○			1				※演習
		地域住民の意識・行動の調査法	1後		1			○			1				
	地域資源マネジメント科目	生活文化デザイン論	1前		1				○	1					※講義
		地域食生活論	2前		1				○	1					※講義
		農業・農村の組織マネジメント	1後		1			○		1					※演習
観光地理学研究		1後		1				○			1				
コミュニティデザイン学特別演習			1~2通		4			○		6	6	2			

教 育 課 程 等 の 概 要														
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
	コミュニティデザイン学特別研究	1~2通		6				○		6	6	2		
	コミュニティデザイン学実践プロジェクト	1~2通		6				○		6	6	2		
	小計(17科目)	—	0	30	0			—		6	6	2	0	0
農業・農村経済学 プログラム 専門科目	農業・農村経済学特別演習	1~2通		4				○		3		2		
	農業・農村経済学特別研究	1~2通		6				○		3		2		
	小計(2科目)	—	0	10	0			—		3	0	2	0	0
建築学プログラム プログラム 専門科目	建築構造学特論A	1前		1				○		1				
	建築構造学特論B	1前		1				○		1				
	建築耐震設計特論A	1前		1				○			1			
	建築耐震設計特論B	1前		1				○			1			
	建築構造解析特論A	1後		1				○			1			
	建築構造解析特論B	1後		1				○			1			
	建築構造材料特論A	1・2後		1				○		1				
	建築構造材料特論B	1・2後		1				○		1				
	木造建築特論A	1・2後		1				○		1				
	木造建築特論B	1・2後		1				○		1				
	既存建築物分析学特論A	1・2前		1				○			1			
	既存建築物分析学特論B	1・2前		1				○			1			
	エコロジカル建築特論A	1・2後		1				○		1				
	エコロジカル建築特論B	1・2後		1				○		1				
	環境設備特論A	1・2前		1				○		1				
	環境設備特論B	1・2前		1				○		1				
	建築設計特論A	1・2前		1				○			1			
	建築設計特論B	1・2前		1				○			1			
	建築計画特論A	1・2前		1				○			1			
	建築計画特論B	1・2前		1				○			1			
	都市解析特論A	1・2前		1				○			1			
都市解析特論B	1・2前		1				○			1				
建築インターンシップⅠ	1・2前・後		1					○		2			共同	
建築インターンシップⅡ	1・2前・後		2					○		2			共同	
建築インターンシップⅢ	1・2前・後		3					○		2			共同	
建築インターンシップⅣ	1・2前・後		2					○		2			共同	
建築インターンシップⅤ	1・2前・後		2					○		2			共同	
建築インターンシップⅥ	1・2前・後		2					○		2			共同	

教 育 課 程 等 の 概 要														
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
	建築設計演習Ⅰ	1・2前・後		2				○			3		1	共同
	建築設計演習Ⅱ	1・2前・後		2				○		3		1	共同	
	建築学特別演習Ⅰ	1通		2			○		7	9		3		
	建築学特別演習Ⅱ	2通		2			○		7	9		3		
	建築学特別研究	1～2通		6				○	7	9		3		
	建築学特別設計	1～2通		6				○	3			1		
	小計 (34科目)	—	0	54	0		—		7	9	0	3	0	
土木工学 プログラム	橋梁工学特論	1後		1			○			1				
	耐震工学特論	1後		1			○			1				
	岩盤力学特論	1前		1			○			1				
	地盤力学特論	1前		1			○			1				
	土木材料学特論	1後		1			○		1					
	エコマテリアル工学特論	1後		1			○			1				
	河川工学特論	1前		1			○		1					
	海岸工学特論	1後		1			○					1		
	水圏環境工学特論	1前		1			○		1					
	地圏環境工学特論	1後		1			○			2			共同	
	都市計画特論	1前		1			○		1					
	都市交通特論	2前		1			○		1					
	防災マネジメント特論	1前		1			○			1				
	海外プロジェクト特論	1前		1			○		1					
土木工学特別演習	1～2通		4				○	9	8		4			
土木工学特別研究	1～2通		6				○	9	8		4			
	小計 (16科目)	—	0	24	0		—	9	8	0	4	0		
農業土木学 プログラム	農業土木学特別演習	1～2通		4			○		3	5		3		
	農業土木学特別研究	1～2通		6				○	3	5		3		
	小計 (2科目)	—	0	10	0		—	3	5	0	3	0		
エアリアス グローバル・ プログラマーズ	グローバル・エアリアス特別演習	1～2通		4			○			1				
	グローバル・エアリアス特別研究	1～2通		6			○			1				
	小計 (2科目)	—	0	10	0		—	0	1	0	0	0		
多文化共生学 プログラム	多文化共生学特別演習	1～2通		4			○		1	1				
	多文化共生学特別研究	1～2通		6			○		1	1				
	小計 (2科目)	—	0	10	0		—	1	1	0	0	0		

教 育 課 程 等 の 概 要															
(地域創生科学研究科 社会デザイン科学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
発達支援学 プログラム 地域人間 プログラム	地域人間発達支援学特別演習	1～2通		4				○		1	2				
	地域人間発達支援学特別研究	1～2通		6				○		1	2				
	小計(2科目)	—	0	10	0			—		1	2	0	0	0	
合計(94科目)			—	4	175	0		—		34	37	6	10	0	兼30
学位又は称号		修士(学術), 修士(農学), 修士(工学), 修士(国際学)			学位又は学科の分野			文学関係, 教育学・保育学関係, 法学関係, 経済学関係, 社会学・社会福祉学関係, 理学関係, 工学関係, 農学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
修了要件は、地域創生リテラシー科目から10単位以上、境界・学際領域科目及びプログラム専門科目(「特別演習」「特別研究」並びに「特別研究」に代えて履修する科目等を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し、かつ、修士論文(又は、修士論文に代わる特定課題等)の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。								1学年の学期区分		2期					
								1学期の授業期間		15週					
								1時限の授業時間		90分					
<p>コミュニティデザイン学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論:実践を問い、現場に還す(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上、「社会システムデザイン科目」から2単位以上、「地域資源マネジメント科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別演習(4単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のコミュニティデザイン学特別研究(6単位)又はコミュニティデザイン学実践プロジェクト(6単位)のいずれかを必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>農業・農村経済学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域社会デザイン学分析展開論:実践を問い、現場に還す(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から3単位以上、「応用科目」から3単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農業・農村経済学特別演習(4単位)及び農業・農村経済学特別研究(6単位)又は農業・農村経済学実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラムの科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>建築学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位)、地域デザイン工学インターンシップ(1単位)、Communication Skills for Engineers(1単位)、土木工学プログラムの「プログラム専門科目(土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を除く。)」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目(農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から建築学特別演習Ⅰ(2単位)、建築学特別演習Ⅱ(2単位)及び建築学特別研究(6単位)又は建築学特別設計(6単位)を含み17単位以上を必ず修得すること。 <p>土木工学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位)、地域デザイン工学インターンシップ(1単位)、Communication Skills for Engineers(1単位)、建築学プログラムの「プログラム専門科目(建築学特別演習Ⅰ(2単位)、建築学特別演習Ⅱ(2単位)、建築学特別研究(6単位)及び建築学特別設計(6単位)を除く。)」又は農業土木学プログラムの「プログラム専門科目(農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>農業土木学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「文系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域デザイン工学プロジェクト(1単位)、地域デザイン工学インターンシップ(1単位)、Communication Skills for Engineers(1単位)、建築学プログラムの「プログラム専門科目(建築学特別演習Ⅰ(2単位)、建築学特別演習Ⅱ(2単位)、建築学特別研究(6単位)及び建築学特別設計(6単位)を除く。)」又は土木工学プログラムの「プログラム専門科目(土木工学特別演習(4単位)及び土木工学特別研究(6単位)を除く。)」から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業土木学特別演習(4単位)及び農業土木学特別研究(6単位)を含み17単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラムの科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>グローバル・エアスタディーズプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」のグローバル・エアスタディーズ総合講義(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「グローバル・スタディーズ科目」から2単位以上、「エアスタディーズ科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エアスタディーズ特別演習(4単位)及びグローバル・エアスタディーズ特別研究(6単位)又はグローバル・エアスタディーズ実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」のグローバル・エアスタディーズ実践プロジェクト(6単位)を選択する場合は、「プログラム専門科目」の特別臨地研究Ⅰ(2単位)又は特別臨地研究Ⅱ(2単位)から2単位以上を必ず修得すること。 <p>多文化共生学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の共生社会論(2単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上、「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の多文化共生学特別演習(4単位)及び多文化共生学特別研究(6単位)又は多文化共生学実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 <p>地域人間発達支援学プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創生リテラシー科目の「理系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「境界・学際領域科目」の地域人間発達支援の実践と課題(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上、「応用科目」から4単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の地域人間発達支援学特別演習(4単位)及び地域人間発達支援学特別研究(6単位)又は地域人間発達支援学実践プロジェクト(6単位)を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 															

教育課程等の概要															
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	地域創生のための社会デザイン&イノベーション	1前	2			○			1	2		1		兼5	オムニバス・共同(一部)※演習
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1			○			4	3					オムニバス・共同(一部)・集中 ※演習
	グローバルな視座を養う	1後	1			○								兼10	オムニバス・共同(一部)
	アカデミックコミュニケーション	2通	2			○			7	1				兼8	共同
地域創生リテラシー 学際的思考力 文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1		○			1						
	農業・農村の組織マネジメント	1後		1		○								兼1	※演習
	観光地理学研究	1後		1			○							兼1	
	ソーシャルビジネス論	1前		1		○								兼1	
	防災と国際協力 I	1後		1		○								兼1	
	環境問題とガバナンス I	1後		1			○							兼1	※講義
	人間の安全保障と国連 I	1前		1		○								兼1	
	国際人権保障と平和構築 I	1後		1		○								兼1	※演習
	東アジアの国際政治と歴史 I	1前		1		○								兼1	※講義
	ラテンアメリカの経済と社会 I	1後		1			○							兼1	
	東アフリカの社会開発と文化 I	1前		1			○							兼1	※講義
	感情コミュニケーションと社会的共生 I	1後		1		○								兼1	
	グローバル化と国際的な人の移動 I	1前		1		○								兼1	
	日本語論述表現法 I	1前		1		○								兼1	※演習
	アメリカ文化研究 I	1後		1		○								兼1	
	フランス思想・文化研究 I	1後		1		○								兼1	
	西洋史研究 I	1前		1		○								兼1	※演習
	東アジア比較文学比較文化研究 I	1前		1		○								兼1	
	ジェンダーとアイデンティティ I	1前		1		○								兼1	
	多文化教育研究 I	1後		1		○								兼1	
	シティズンシップ教育 I	1後		1		○								兼1	
	日本文化研究 I	1後		1		○								兼1	
	文化人類学研究 I	1前		1		○								兼1	※演習
	英語学研究 I	1後		1		○								兼1	
外国にルーツをもつ子ども・青年と教育 I	1後		1		○								兼1		
西洋近現代哲学研究 I	1前		1		○								兼1		
Comparative Study of Contemporary Cultures I	1前		1		○								兼1		
日本語史と日本語研究 I	1後		1		○								兼1	※演習	
技術日本語	1前		1		○						1				
実践力	実践インターンシップ	1・2 前・後		2				○	1	1		1			共同
	実践フィールドワーク	1・2 前・後		2				○						兼1	
	創成工学プロジェクト演習	1前		2			○		1	1		1			オムニバス・共同
	International Political Economy	1前		2		○								兼1	集中
	Global Management	1前		2		○								兼1	集中
	Globalization and Society	1後		2		○								兼1	集中 ※演習
	国際インターンシップ	1・2 前・後		2				○	1						
	臨地研究	1・2 前・後		2				○						兼2	共同
小計 (41科目)		6	45	0		—		9	5	1	2	0	兼50		

教育課程等の概要																	
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
境界・学際領域科目	基礎光学	1前		1		○											
	光学基盤技術	1後		1		○									兼4	オムニバス	
	遺伝子情報解析技術論	1前		1		○			1								
	細胞解析技術論	1前		1		○				1							
	質量分析装置解析技術論	1後		1		○				1							
	バイオデザイン・プロセス学	1後		1		○				2						オムニバス	
	環境分析化学	1後		1		○			2							オムニバス	
	化学システム工学	1後		1		○				1							
	物質プロセス工学	2前		1		○				1							
	分子生理化学	2前		1		○				2						オムニバス	
	界面化学	2前		1		○			1								
	食品機能科学	1後		1		○			2		1					オムニバス	
	材料組織評価学	1前		2		○				1							
	生体機械工学	1前		2		○				1							
	マイクロ・ナノ工学	1後		2		○				1							
	メカトロニクス制御	1後		2		○				1							
	基礎/発展 電磁気学	1前		2		○						1					
	量子エレクトロニクス	1後		2		○					1						
	エンジニアリング	1前		1		○				1						兼1	オムニバス・共同(一部)・集中
	情報電気電子システム工学特別講義	1・2後		1		○				1							
	スマート農林業	1後		1		○				6	1					オムニバス	
	政策課題演習	1後		1		○				6	1					オムニバス・共同(一部)	
小計(22科目)		—	0	28	0	—			16	11	1	2	0	兼5			
光工学プログラム	Scientific Writing	2前		1		○			1								
	波動光学	1・2前		2		○			1								
	光計測	1・2後		2		○			1								
	光導波路デバイス	1・2後		2		○			1								
	情報光学	1・2後		2		○			1								
	レーザープラズマ工学	1・2前		2		○			1								
	光学設計	1後		2		○									兼1		
	数理光物理学	1・2前		2		○				1							
	感性情報処理	1・2前		2		○				1							
	先端フォトニクス	1・2前		2		○				1							
	オプトメカトロニクス	1・2前		2		○				1							
	光学システム科学	1・2後		2		○						1					
	可視化情報工学	1・2後		2		○					1						
	画像工学	1後		2		○									兼2	オムニバス	
	ディスプレイ工学	1・2後		2		○					1						
パワーレーザー工学	1・2前		2		○									兼1	集中		
光工学特別演習	1~2通		4			○			9	12	1	5					
光工学特別研究	1~2通		6				○		9	12	1	5					
小計(18科目)		—	0	41	0	—			9	12	1	5	0	兼4			
分子農学プログラム	植物分子保護学	1・2後		2		○				1		1				オムニバス	
	植物分子遺伝育種学	1・2後		2		○				2	1					オムニバス	
	分子植物生理学	1・2前		2		○				2		1				オムニバス	
	分子進化生態学	1・2後		2		○				1						オムニバス	
	動物分子生理学	1・2前		2		○				1							
	動物生殖遺伝学	1・2後		2		○				1	1					オムニバス	
	分子農学特別演習	1~2通		4			○			11	15	1	6				
	分子農学特別研究	1~2通		6				○		11	15	1	6				
小計(8科目)		—	0	22	0	—			11	15	1	6	0				

教育課程等の概要																
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
物質環境化学プログラム	物理化学要論	1前		2		○			2	1					オムニバス ※演習 オムニバス ※演習 オムニバス ※講義 オムニバス ※演習	
	分子構造化学	1前		2		○			6	9						
	分子機能化学	1後		2			○		2	2						
	物質・環境工学	1後		2		○			1	3						
	物質環境化学特別演習	1～2通		4			○		14	16	2	5				
	物質環境化学特別研究	1～2通		6				○	14	16	2	5				
	小計(6科目)	—	0	18	0		—	14	16	2	5	0				
農芸化学プログラム	フロンティア農芸化学	1前		2		○			4						オムニバス・共同(一部) ※演習 オムニバス オムニバス オムニバス・共同(一部) ※演習	
	生理活性物質化学	1前		2		○			2	2						
	栄養生理化学	2前		2		○			2		1					
	植物機能化学	1後		2		○			2	1						
	科学技術と私たちの暮らし	1前		2		○			1							
	農芸化学特別演習	1～2通		4			○		16	16	3	6				
	農芸化学特別研究	1～2通		6				○	16	16	3	6				
	小計(7科目)	—	0	20	0		—	16	16	3	6	0				
機械知能工学プログラム	実験流体力学	1後		2		○			1							
	材料・接合工学	1前		2		○			1							
	生産技術工学	1前		2		○				1						
	先端精密加工学	1後		2		○				1						
	成形プロセス工学	1前		2		○				1						
	力学系理論	1前		2		○				1						
	確率システム理論	1後		2		○			1							
	ロボット技術	1後		2		○			1							
	知能ロボット	1後		2		○				1						
	幾何数理機械工学	1前		2		○				1						
	非線形現象の幾何学I	1前		2		○			1							
	非線形現象の幾何学II	1後		2		○			1							
	機械知能工学特別演習	1～2通		4			○		10	11	1	5				
	機械知能工学特別研究	1～2通		6				○	10	11	1	5				
	小計(14科目)	—	0	34	0		—	10	11	1	5	0				
情報電気電子システム工学プログラム	基盤科目	数理学特論	1前		2		○		1							
		数理解析特論	1後		2		○			1						
		非線形解析特論	1前		2		○			1						
		応用数学特論	1後		2		○				1					
	基盤要素技術科目	信号処理特論	1後		2		○			1						
		ソフトウェア概論	1前		2		○			1						
		データ工学	1後		2		○				1					
		デジタル画像工学	1後		2		○			1						
		音響情報工学	1後		2		○			1						
		情報量統計学	1前		2		○				1					
		超伝導エレクトロニクス	1前		2		○			1						
		スピントロニクス	1後		2		○				1					
		光制御回路工学	1前		2		○				1					
		マイクロ波・ミリ波回路工学	1前		2		○				1					
		エネルギー科学	1前		1		○			1						
		レーザー工学	1前		2		○			1						
		電気自動車	1前		2		○				1					
		アドバンスパワーエレクトロニクス	1前		2		○			1						
		ロバスト制御理論	1前		2		○			1						
		材料物性の量子論	1前		2		○			1						
ソリッドステートの物理	1後		2		○				1							

教育課程等の概要																
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
システム応用技術科目	応用情報システム特論	1後		2		○			1							
	情報ネットワーク特論	1前		2		○				1						
	計算機アーキテクチャ特論	1前		2		○				1						
	スマートシティテクノロジー	1後		1		○			1							
	大規模システム最適化	1前		2		○				1						
	システムバイオロジー	1後		2		○				1						
	画像復元処理特論	1後		2		○			1							
	感性情報処理システム	1後		2		○				1						
	コンピュータグラフィックス特論	1後		2		○				1						
	ネットワークコンピューティング特論	1後		2		○			1							
	情報電気電子システム工学特別演習	1～2通		4			○		16	23		11				
	情報電気電子システム工学特別研究	1～2通		6			○		16	23		11				
	小計 (33科目)	—	0	70	0	—			16	23	0	11	0			
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目	地球環境史特論	1前	1		○			1							
		作物生理生態学	1前	1		○			1							
		植物栄養・肥科学	1前	1		○			1							
		地域土壌圏科学	1前	1		○			1							
		園芸作物生理学	1前	1		○			1							
		植物細菌学	1後	1		○				1						
		作物生産技術の現状と課題, 展望	1後	1		○				1						
		園芸フィールド生理学	1前	1		○						1				
		作物品種改良学	1後	1		○			1							
		防除分子生態学	1後	1		○			1							
		生物とウイルスの関係学	1後	1		○				1						
		動物行動管理学	1後	1		○				1						
		動物形態学	1前	1		○					1					
		ヒトと動物の関係学	1後	1		○			1							
		雑草管理学	1前	1		○			1							
		植生管理学	1前	1		○				1						
		野生動物管理学	1前	1		○				1						
		生物生産環境情報工学	1前	1		○			1							
		生物環境調節学	1後	1		○			1							
		生物生産機械学	1後	1		○			1							
		生物環境システム工学	1後	1		○				1						
		食品流通工学	1前	1		○						1				
		生産流通システム工学	1後	1		○				1						
植物生産環境学	1後	1		○						1						
Scientific English	1前	1				○			1							
農業生産環境保全学特別講義 I	1通	1		○				1					兼4	オムニバス ※演習		
農業生産環境保全学特別講義 II	1通	1		○				1					兼4	オムニバス ※演習		
農業生産環境保全学特別講義 III	1通	1		○				3	2		1			オムニバス ※演習		
農業生産環境保全学特別演習	1～2通	4				○		27	23	2	10					
農業生産環境保全学特別研究	1～2通	6					○	27	23	2	10					
	小計 (30科目)	—	0	38	0	—			27	23	2	10	0	兼8		
森林生産環境保全学プログラム	基盤科目	森林生産育林学	1前	1		○			1	1					オムニバス・共同 (一部)	
		森林管理政策学	1前	1		○			1	1		1			オムニバス	
		森林工学	1前	1		○			1	1					オムニバス	
		森林生産利用学	1前	1		○			1		1				オムニバス	
	プログラム専門科目	応用科目	森林生態育林学	1前	1		○			1						
			治山砂防学	1前	1		○			1						
			森林政策学	1前	1		○			1						
			森林管理計画学	1前	1		○				1					
			森林作業学	1前	1		○				1					
			森林植物学	1後	1		○				1					
			森林経済学	1前	1		○						1			
			樹木木質学	1前	1		○			1						
			森林資源管理学	1後	1		○					1				

教育課程等の概要														
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手
	森林生産保全学特別講義	1通		1		○			4	3	1	1		オムニバス・共同(一部)実演習
	森林生産保全学特別演習	1~2通		4			○		23	15	1	7		
	森林生産保全学特別研究	1~2通		6			○		23	15	1	7		
	小計(16科目)	—	0	24	0	—	—	—	23	15	1	7	0	
合計(195科目)		—	6	312	0	—	—	—	60	62	6	28	0	兼67
学位又は称号		修士(光工学), 修士(分子農学), 修士(工学), 修士(農学)			学位又は学科の分野			工学関係, 農学関係						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
<p>修了要件は、地域創生リテラシー科目から10単位以上、境界・学際領域科目及びプログラム専門科目(「特別演習」「特別研究」を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。 なお、地域創生リテラシー科目は、「文系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。</p> <p>光工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)、光学基盤技術(1単位)、遺伝子情報解析技術論(1単位)、細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単位)から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の光工学特別演習(4単位)及び光工学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。</p> <p>分子農学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)、光学基盤技術(1単位)、遺伝子情報解析技術論(1単位)、細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単位)から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習(4単位)及び分子農学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。</p> <p>物質環境化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)、環境分析化学(1単位)、化学システム工学(1単位)、物質プロセス工学(1単位)、分子生理化学(1単位)、界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習(4単位)及び物質環境化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。</p> <p>農芸化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)、環境分析化学(1単位)、化学システム工学(1単位)、物質プロセス工学(1単位)、分子生理化学(1単位)、界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習(4単位)及び農芸化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。</p> <p>機械知能工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学(2単位)、生体機械工学(2単位)、マイクロ・ナノ工学(2単位)又はメカトロニクス制御(2単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習(4単位)及び機械知能工学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。</p> <p>情報電気電子システム工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎/発展 電磁気学(2単位)、量子エレクトロニクス(2単位)、エンジニアリング(1単位)又は情報電気電子システム工学特別講義(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上、「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習(4単位)及び情報電気電子システム工学特別研究(6単位)を必ず修得すること。</p> <p>農業生産環境保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業(1単位)及び政策課題演習(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習(4単位)及び農業生産環境保全学特別研究(6単位)を含み15単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。</p> <p>森林生産保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業(1単位)及び政策課題演習(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位、「応用科目」から4単位を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習(4単位)及び森林生産保全学特別研究(6単位)を必ず修得すること。</p>							1学年の学期区分		2期					
							1学期の授業期間		15週					
							1時限の授業時間		90分					

教育課程等の概要															
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創生リテラシー	地域創生のための社会デザイン&イノベーション	1前	2			○				1				兼2	オムニバス・共同(一部) ※演習
	現代社会を見通す：生命と感性の科学	1前	1			○			4	3					オムニバス・共同(一部)・集中 ※演習
	グローバルな視座を養う	1後	1			○								兼10	オムニバス・共同(一部)
	アカデミックコミュニケーション	2通	2				○		3	1				兼5	共同
	ソーシャルビジネス論	1前		1		○								兼1	
	防災と国際協力 I	1後		1		○								兼1	
	環境問題とガバナンス I	1後		1			○							兼1	※講義
	人間の安全保障と国連 I	1前		1		○								兼1	
	国際人権保障と平和構築 I	1後		1		○								兼1	※演習
	東アジアの国際政治と歴史 I	1前		1		○								兼1	※講義
	ラテンアメリカの経済と社会 I	1後		1			○							兼1	
	東アフリカの社会開発と文化 I	1前		1			○							兼1	※講義
	感情コミュニケーションと社会的共生 I	1後		1		○								兼1	
	グローバル化と国際的な人の移動 I	1前		1		○								兼1	
	日本語論述表現法 I	1前		1		○								兼1	※演習
	アメリカ文化研究 I	1後		1		○								兼1	
	フランス思想・文化研究 I	1後		1		○								兼1	
	西洋史研究 I	1前		1		○								兼1	※演習
	東アジア比較文学比較文化研究 I	1前		1		○								兼1	
	ジェンダーとアイデンティティ I	1前		1		○								兼1	
多文化教育研究 I	1後		1		○								兼1		
シティズンシップ教育 I	1後		1		○								兼1		
日本文化研究 I	1後		1		○								兼1		
文化人類学研究 I	1前		1		○								兼1	※演習	
英語学研究 I	1後		1		○								兼1		
外国にルーツをもつ子ども・青年と教育 I	1後		1		○								兼1		
西洋近現代哲学研究 I	1前		1		○								兼1		
Comparative Study of Contemporary Cultures I	1前		1		○								兼1		
日本語史と日本語研究 I	1後		1		○								兼1	※演習	
実践力	International Political Economy	1前		2		○								兼1	集中
	Global Management	1前		2		○								兼1	集中
	Globalization and Society	1後		2		○								兼1	集中 ※演習
	国際インターナシッブ	1・2 前・後		2				○	1						
	臨地研究	1・2 前・後		2				○						兼2	共同
小計 (34科目)			6	35	0	-			6	4	0	1	0	兼47	
境界・学際領域科目	遺伝子情報解析技術論	1前		1		○			1						
	細胞解析技術論	1前		1		○				1					
	質量分析装置解析技術論	1後		1		○				1					
	バイオデザイン・プロセス学	1後		1		○				2					オムニバス
	環境分析化学	1後		1		○			2						オムニバス
	分子生理化学	2前		1		○				2					オムニバス
	食品機能科学	1後		1		○			2		1				オムニバス
	スマート農林業	1後		1		○			6	1					オムニバス
	政策課題演習	1後		1		○			6	1					オムニバス・共同(一部)
小計 (9科目)			0	9	0	-			11	7	1	0	0		
プログラム	門ラップ科目プログラム	光工学特別演習	1~2通		4			○	4	8	1	1			
		光工学特別研究	1~2通		6			○	4	8	1	1			
		小計 (2科目)			0	28	0	-			4	8	1	1	0

教育課程等の概要															
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
分子農学プログラム	プログラム専門科目	植物分子保護学	1・2後	2			○				1		1		オムニバス
		植物分子遺伝育種学	1・2後	2			○				2	1			オムニバス
		分子植物生理学	1・2前	2			○				2		1		オムニバス
		分子進化生態学	1・2後	2			○				1				
		動物分子生理学	1・2前	2			○				1				
		動物生殖遺伝学	1・2後	2			○				1	1			オムニバス
		分子農学特別演習	1~2通	4				○			6	11	1	2	
		分子農学特別研究	1~2通	6					○		6	11	1	2	
		小計(8科目)		—	0	22	0	—			6	11	1	2	0
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目	物質環境化学特別演習	1~2通	4			○			8	7	2			
		物質環境化学特別研究	1~2通	6				○		8	7	2			
		小計(2科目)		—	0	10	0	—		8	7	2	0	0	
農芸化学プログラム	プログラム専門科目	フロンティア農芸化学	1前	2			○			4					オムニバス・共同(一部)※演習
		生理活性物質化学	1前	2			○				2				オムニバス
		栄養生理化学	2前	2			○				2	1			オムニバス
		植物機能化学	1後	2			○				2	1			オムニバス・共同(一部)※演習
		科学技術と私たちの暮らし	1前	2			○				1				
		農芸化学特別演習	1~2通	4				○			10	7	3	1	
		農芸化学特別研究	1~2通	6					○		10	7	3	1	
小計(7科目)		—	0	20	0	—		10	7	3	1	0			
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目	機械知能工学特別演習	1~2通	4			○			3	4	1			
		機械知能工学特別研究	1~2通	6				○		3	4	1			
		小計(2科目)		—	0	10	0	—		3	4	1	0	0	
情報電気電子システム工学プログラム	プログラム専門科目	情報電気電子システム工学特別演習	1~2通	4			○				7		3		
		情報電気電子システム工学特別研究	1~2通	6				○			7		3		
		小計(2科目)		—	0	10	0	—		0	7	0	3	0	
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目	地球環境史特論	1前	1			○			1					
		作物生理生態学	1前	1			○			1					
		植物栄養・肥料学	1前	1			○			1					
		地域土壌園科学	1前	1			○			1					
		園芸作物生理学	1前	1			○			1					
		植物細菌学	1後	1			○				1				
		作物生産技術の現状と課題, 展望	1後	1			○				1				
		園芸フィールド生理学	1前	1			○						1		
		作物品種改良学	1後	1			○			1					
		防除分子生態学	1後	1			○			1					
		生物とウイルスの関係学	1後	1			○				1				
		動物行動管理学	1後	1			○				1				
		動物形態学	1前	1			○					1			
		ヒトと動物の関係学	1後	1			○			1					
		雑草管理学	1前	1			○			1					
		植生管理学	1前	1			○				1				
		野生動物管理学	1前	1			○				1				
		生物生産環境情報工学	1前	1			○			1					
		生物環境調節学	1後	1			○			1					
		生物生産機械学	1後	1			○			1					
		生物環境システム工学	1後	1			○				1				
食品流通工学	1前	1			○						1				
生産流通システム工学	1後	1			○				1						
植物生産環境学	1後	1			○						1				
Scientific English	1前	1				○			1						
農業生産環境保全学特別講義Ⅰ	1通	1				○			1					兼4 オムニバス※演習	
農業生産環境保全学特別講義Ⅱ	1通	1				○			1					兼4 オムニバス※演習	

教育課程等の概要															
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	農業生産環境保全学特別講義Ⅲ	1通		1		○			3	2		1		オムニバス ※演習	
	農業生産環境保全学特別演習	1~2通		4			○		16	11	2	4			
	農業生産環境保全学特別研究	1~2通		6				○	16	11	2	4			
	小計(30科目)	—	0	38	0	—	—	—	16	11	2	4	0	兼8	
森林生産保全学プログラム	基盤科目	森林生産育林学	1前	1		○			1	1				オムニバス・共同(一部)	
		森林管理政策学	1前	1		○			1	1		1			オムニバス
		森林工学	1前	1		○			1	1					オムニバス
		森林生産利用学	1前	1		○			1		1				オムニバス
	プログラム専門科目	応用科目	森林生態育林学	1前	1		○			1					オムニバス・共同(一部) ※演習
			治山砂防学	1前	1		○			1					
			森林政策学	1前	1		○			1					
			森林管理計画学	1前	1		○				1				
			森林作業学	1前	1		○					1			
			森林植物学	1後	1		○					1			
			森林経済学	1前	1		○						1		
			樹木木質学	1前	1		○			1					
			森林資源管理学	1後	1		○					1			
			森林生産保全学特別講義	1通	1		○			4	3	1	1		
			森林生産保全学特別演習	1~2通	4			○		12	5	1	1		
			森林生産保全学特別研究	1~2通	6				○	12	5	1	1		
小計(16科目)	—	0	24	0	—	—	—	12	5	1	1	0			
合計(112科目)			—	6	206	0	—	—	76	71	12	13	0	兼55	
学位又は称号	修士(光工学), 修士(分子農学), 修士(工学), 修士(農学)		学位又は学科の分野				工学関係, 農学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
修了要件は、地域創生リテラシー科目から10単位以上、境界・学際領域科目及びプログラム専門科目(「特別演習」「特別研究」を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。 なお、地域創生リテラシー科目は、「文系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修得すること。 光工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)、光学基盤技術(1単位)、遺伝子情報解析技術論(1単位)、細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単位)から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の光工学特別演習(4単位)及び光工学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。 分子農学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)、光学基盤技術(1単位)、遺伝子情報解析技術論(1単位)、細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単位)から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習(4単位)及び分子農学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 物質環境化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)、環境分析化学(1単位)、化学システム工学(1単位)、物質プロセス工学(1単位)、分子生理化学(1単位)、界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習(4単位)及び物質環境化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 農芸化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)、環境分析化学(1単位)、化学システム工学(1単位)、物質プロセス工学(1単位)、分子生理化学(1単位)、界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習(4単位)及び農芸化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 機械知能工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学(2単位)、生体機械工学(2単位)、マイクロ・ナノ工学(2単位)又はメカトロニクス制御(2単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習(4単位)及び機械知能工学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 情報電気電子システム工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎/発展 電磁気学(2単位)、量子エレクトロニクス(2単位)、エンジニアリング(1単位)又は情報電気電子システム工学特別講義(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上、「基盤要素技術科目」から2単位以上、「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習(4単位)及び情報電気電子システム工学特別研究(6単位)を必ず修得すること。 農業生産環境保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業(1単位)及び政策課題演習(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習(4単位)及び農業生産環境保全学特別研究(6単位)を含み15単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 森林生産保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業(1単位)及び政策課題演習(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位、「応用科目」から4単位を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習(4単位)及び森林生産保全学特別研究(6単位)を必ず修得すること。								1学年の学期区分	2期						
								1学期の授業期間	15週						
								1時限の授業時間	90分						

教育課程等の概要															
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創生リテラシー	学際的思考力	地域創生のための社会デザイン&イノベーション	1前	2			○			1	1				兼3 オムニバス・共同(一部) ※演習
		アカデミックコミュニケーション	2通	2				○		4					兼3 共同
	文系科目群	実践経営マネジメント概論	1前		1			○		1					兼1 ※演習
		農業・農村の組織マネジメント	1後		1			○							兼1
		観光地理学研究	1後		1				○			1			兼1
	実践力	技術日本語	1前		1			○							
		実践インターンシップ	1・2 前・後		2					1	1		1		共同
		実践フィールドワーク	1・2 前・後		2										兼1
		創成工学プロジェクト演習	1前		2				○	1	1		1		オムニバス・共同
		小計 (9科目)	—	4	10	0	—	—	—	7	2	1	1	0	兼9
境界・学際領域科目	基礎光学	1前		1			○						1		
	光学基盤技術	1後		1			○							兼4 オムニバス	
	化学システム工学	1後		1			○			1					
	物質プロセス工学	2前		1			○			1					
	界面化学	2前		1			○		1						
	材料組織評価学	1前		2			○			1					
	生体機械工学	1前		2			○		1						
	マイクロ・ナノ工学	1後		2			○		1						
	メカトロニクス制御	1後		2			○		1						
	基礎/発展 電磁気学	1前		2			○					1			
	量子エレクトロニクス	1後		2			○			1					
	エンジニアコーチング	1前		1			○		1					兼1 オムニバス・共同(一部)・集中	
	情報電気電子システム工学特別講義	1・2後		1			○		1						
	小計 (13科目)	—	0	19	0	—	—	—	5	4	0	2	0	兼5	
光工学プログラム	プログラム専門科目	Scientific Writing	2前		1			○		1					
		波動光学	1・2前		2			○		1					
		光計測	1・2後		2			○		1					
		光導波路デバイス	1・2後		2			○		1					
		情報光学	1・2後		2			○		1					
		レーザープラズマ工学	1・2前		2			○		1					
		光学設計	1後		2			○							兼1
		数理光物理学	1・2前		2			○			1				
		感性情報処理	1・2前		2			○		1					
		先端フォトンクス	1・2前		2			○			1				
		オプトメカトロニクス	1・2前		2			○		1					
		光学システム科学	1・2後		2			○					1		
		可視化情報工学	1・2後		2			○				1			
		画像工学	1後		2			○							兼2 オムニバス
		ディスプレイ工学	1・2後		2			○				1			
		パワーレーザー工学	1・2前		2			○							兼1 兼中
		光工学特別演習	1~2通		4				○		5	4		4	
		光工学特別研究	1~2通		6						5	4		4	
	小計 (18科目)	—	0	79	0	—	—	—	5	4	0	4	0	兼4	
分子農学プログラム	分子農学プログラム	分子農学特別演習	1~2通		4			○		5	4		4		
		分子農学特別研究	1~2通		6				5	4		4			
		小計 (2科目)	—	0	10	0	—	—	—	5	4	0	4	0	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目	物理化学要論	1前	2			○			2	1				オムニバス ※演習 オムニバス ※演習 オムニバス ※講義 オムニバス ※演習
		分子構造化学	1前	2			○			6	9				
		分子機能化学	1後	2				○		2	2				
		物質・環境工学	1後	2			○			1	3				
		物質環境化学特別演習	1~2通	4				○		6	9		5		
		物質環境化学特別研究	1~2通	6					○	6	9		5		
	小計(6科目)	-	0	18	0				6	9	0	5	0		
農芸化学プログラム	プログラム専門科目	農芸化学特別演習	1~2通	4				○		6	9		5		
		農芸化学特別研究	1~2通	6					○	6	9		5		
		小計(2科目)	-	0	10	0				6	9		5	0	
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目	実験流体力学	1後	2			○			1					
		材料・接合工学	1前	2			○			1					
		生産技術工学	1前	2			○				1				
		先端精密加工学	1後	2			○				1				
		成形プロセス工学	1前	2			○				1				
		力学系理論	1前	2			○				1				
		確率システム理論	1後	2			○			1					
		ロボット技術	1後	2			○			1					
		知能ロボット	1後	2			○				1				
		幾何数理機械工学	1前	2			○				1				
		非線形現象の幾何学Ⅰ	1前	2			○			1					
非線形現象の幾何学Ⅱ	1後	2			○			1							
機械知能工学特別演習	1~2通	4				○		7	7		5				
機械知能工学特別研究	1~2通	6					○	7	7		5				
	小計(14科目)	-	0	34	0				8	7	0	5	0		
情報電気電子システム工学プログラム	基盤科目	数理学特論	1前	2			○			1					
		数理解析特論	1後	2			○				1				
		非線形解析特論	1前	2			○			1					
		応用数学特論	1後	2			○				1				
	プログラム専門科目	信号処理特論	1後	2			○			1					
		ソフトウェア概論	1前	2			○			1					
		データ工学	1後	2			○				1				
		デジタル画像工学	1後	2			○			1					
		音響情報工学	1後	2			○			1					
		情報量統計学	1前	2			○				1				
		超伝導エレクトロニクス	1前	2			○			1					
		スピントロニクス	1後	2			○				1				
		光制御回路工学	1前	2			○				1				
		マイクロ波・ミリ波回路工学	1前	2			○				1				
		エネルギー科学	1前	1			○			1					
		レーザー工学	1前	2			○			1					
		電気自動車	1前	2			○				1				
アドバンストパワーエレクトロニクス	1前	2			○			1							
ロバスト制御理論	1前	2			○			1							
材料物性の量子論	1前	2			○			1							
ソリッドステートの物理	1後	2			○				1						

教 育 課 程 等 の 概 要														
(地域創生科学研究科 工農総合科学専攻)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報 電気 電子 システム 工学 プログラム	応用情報システム特論	1後		2			○		1					
	情報ネットワーク特論	1前		2			○			1				
	システムアーキテクチャ特論	1前		2			○			1				
	スマートシティーテクノロジー	1後		1			○		1					
	大規模システム最適化	1前		2			○			1				
	システムバイオロジー	1後		2			○			1				
	画像復元処理特論	1後		2			○		1					
	感性情報処理システム	1後		2			○			1				
	コンピュータグラフィックス特論	1後		2			○			1				
	ネットワークコンピューティング特論	1後		2			○		1					
情報電気電子システム工学特別演習	1～2通		4			○		16	16			8		
情報電気電子システム工学特別研究	1～2通		6				○	16	16			8		
小計(33科目)		—	0	70	0		—	16	16	0	8	0		
環境 保全 学 プログラム	門ラ ボ ロ グ ラ ム 専 攻 目 特 別 演 習	1～2通		4			○		11	12			6	
	門ラ ボ ロ グ ラ ム 専 攻 目 特 別 研 究	1～2通		6				○	11	12			6	
	小計(2科目)	—	0	10	0		—	11	12	0	6	0		
森 林 生 産 学 プログラム	門ラ ボ ロ グ ラ ム 専 攻 目 特 別 演 習	1～2通		4			○		11	10			6	
	門ラ ボ ロ グ ラ ム 専 攻 目 特 別 研 究	1～2通		6				○	11	10			6	
	小計(2科目)	—	0	10	0		—	11	10	0	6	0		
合計(195科目)			—	4	270	0	—	80	77	1	46	0	兼18	
学位又は称号		修士(光工学), 修士(分子農学), 修士(工学), 修士(農学)			学位又は学科の分野			工学関係, 農学関係						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
修了要件は、地域創生リテラシー科目から10単位以上、境界・学際領域科目及びプログラム専門科目 (「特別演習」「特別研究」を含む)から20単位以上の計30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及 び最終試験に合格した者に学位を授与する。 なお、地域創生リテラシー科目は、「文系科目群」から2単位以上、「実践力」から2単位以上を必ず修 得すること。 光工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)、光学基盤技術(1単位)、遺伝子情報解析技術論(1単位)、細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単 位)から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の光工学特別演習(4単位)及び光工学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。 分子農学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎光学(1単位)、光学基盤技術(1単位)、遺伝子情報解析技術論(1単位)、細胞解析技術論(1単位)又は質量分析装置解析技術論(1単 位)から1単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の分子農学特別演習(4単位)及び分子農学特別研究(6単位)を含み16単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 物質環境化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)、環境分析化学(1単位)、化学システム工学(1単位)、物質プロセス工学(1単位)、分子生理化学 (1単位)、界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の物質環境化学特別演習(4単位)及び物質環境化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 農芸化学プログラム ・「境界・学際領域科目」のバイオデザイン・プロセス学(1単位)、環境分析化学(1単位)、化学システム工学(1単位)、物質プロセス工学(1単位)、分子生理化学 (1単位)、界面化学(1単位)又は食品機能科学(1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の農芸化学特別演習(4単位)及び農芸化学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 機械知能工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の材料組織評価学(2単位)、生体機械工学(2単位)、マイクロ・ナノ工学(2単位)又はメカトロニクス制御(2単位)から2単位以上を必ず修 得すること。 ・「プログラム専門科目」の機械知能工学特別演習(4単位)及び機械知能工学特別研究(6単位)を含み14単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から2単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 情報電気電子システム工学プログラム ・「境界・学際領域科目」の基礎/発展 電磁気学(2単位)、量子エレクトロニクス(2単位)、エンジニアリング(1単位)又は情報電気電子システム工学特別講義 (1単位)から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」から2単位以上、「基盤要素技術科目」から2単位以上、「システム応用技術科目」から2単位以上を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の情報電気電子システム工学特別演習(4単位)及び情報電気電子システム工学特別研究(6単位)を必ず修得すること。 農業生産環境保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業(1単位)及び政策課題演習(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」から農業生産環境保全学特別演習(4単位)及び農業生産環境保全学特別研究(6単位)を含み15単位以上を必ず修得すること。 ・指導教員との相談・指導の下で、教育上有益と認めるときは、他のプログラム専門科目から3単位まで修了の要件となる単位として認めることができる。 森林生産保全学プログラム ・「境界・学際領域科目」のスマート農林業(1単位)及び政策課題演習(1単位)を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の「基盤科目」4単位、「応用科目」から4単位を必ず修得すること。 ・「プログラム専門科目」の森林生産保全学特別演習(4単位)及び森林生産保全学特別研究(6単位)を必ず修得すること。							1学年の学期区分		2期					
							1学期の授業期間		15週					
							1時限の授業時間		90分					